

令和 4 年度

中札内村教育委員会の活動状況に関する点検及び評価報告書

令和 5 年 1 月

中札内村教育委員会



## 目 次

はじめに	3
1 教育委員会議の開催状況	4
2 教育委員の活動状況	6
3 各種委員会等の活動状況	8
4 令和4年度教育予算の執行状況	
(1) 令和4年度教育費項・目別執行額状況	9
(2) 令和4年度の主な事業	11
5 令和4年度教育委員会の事務事業執行状況等	
(1) 学校教育	
①学校別学級・児童生徒・教職員数	14
②年度別学校児童生徒数	14
③学校別給食日数	14
④学校給食主食形態別内訳及び牛乳飲用数	14
(2) 社会教育	
①事業	15
②文化賞等受賞者	17
③文化振興奨励事業補助金	18
④社会教育委員活動	18
⑤文化財専門委員活動	18
(3) 体育振興	
①施設関係	19
②村民スポーツ大会	19
③各種大会	19
④主催事業・教室	19

⑤スポーツ推進委員活動	20
⑥中札内ピータンスポーツクラブ	20
⑦スポーツ振興奨励事業補助金	21
⑧学校開放事業	21

## 6 令和4年度 教育委員会の政策評価

(1) 評価の目的	23
(2) 評価の区分	23
(3) 評価と改善の方向	23
(4) 評価書総括表	23
①令和4年度実施事業に関する政策評価書	24

## 資料

令和4年度 施設の利用状況	44
---------------	----

## はじめに

新型コロナウイルス感染症への対応とその影響が継続する中、本村教育委員会においては、第7期中札内村まちづくり計画の柱の一つである「文化と学びが紡ぐまち」を実現するため、中札内村教育大綱、教育に関わる諸計画に基づき各施策を実施しました。

社会の大きな変化に対応できるためのまちづくりや人づくりにおいては、教育の役割が重要であり、ふるさとに愛着と誇りを持ち、互いに支え合いながら、生涯にわたって生き抜く力を身につけることが求められています。

子どもたちが社会の中で義務と責任を果たせる人となるよう、「生きる力」の育成を基本とし、学校・家庭・地域など社会全体で、子どもたちの確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく育てる教育と、そのための教育環境づくりを推進しました。社会教育では、すべての村民が心の豊かさ、生きがいを感じができるよう、文化・芸術に触れる機会をつくり、生涯にわたくって学ぶことができ、その成果を主体的に生かす環境づくりを推進しました。

これらの施策が、効率的な教育行政の推進に資するとともに、村民への説明責任を果たすため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会の事務の管理・執行状況について、「中札内村まちづくり計画」の方向性と照らし合わせ、点検・評価を行いました。

中札内村教育委員会は、この結果を今後の施策に十分に生かし、子どもたちの生きる力を育む教育の推進や、村民の皆様が生涯にわたって学び続けることのできる教育環境の整備・充実など、教育行政の推進に努めてまいります。

令和5年11月

中札内村教育委員会

## 1 教育委員会議の開催状況

中札内村教育委員会議は原則として公開で、毎月1回開催しています。また、その他必要に応じて臨時会議を開催しています。

この会議では、教育行政の基本方針の決定や教育に関する規則等の制定・改廃などを含むさまざまな議題について審議しています。

月 日	付 託 案 件 等
4月 21日	第1回 教育委員会定例会議 (議案) ・教育長職務代理者の選任について 他9件 (協議・報告事項) ・学校訪問の実施について
5月 24日	第2回 教育委員会定例会議 (議案) ・令和4年度中札内村立学校教育課程の決定について 他5件 (協議・報告事項) ・学校訪問の実施について
6月 30日	第3回 教育委員会定例会議 (議案) ・令和4年度準要保護児童生徒に係る就学援助について 他1件 (協議・報告事項) なし
7月 22日	第4回 教育委員会定例会議 (議案) ・指導主事の設置等に関する規則の一部を改正する規則について 他2件 (協議・報告事項) ・教育長に委任する事項について
8月 26日	第5回 教育委員会定例会議 (議案) ・中札内村ファミリースポーツセンター管理運営規則等の一部を改正する規則について 他1件 (協議・報告事項) ・中札内村スポーツ振興奨励事業補助金について 他1件
9月 28日	第6回 教育委員会定例会議 (議案) ・教育長職務代理者の選任について 他4件 (協議・報告事項) ・中札内村民生委員推薦会委員の推薦について 他1件

月 日	付 託 案 件 等
10月 20日	<p>第7回 教育委員会定例会議 (議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度中札内村教育委員会の活動状況に関する点検・評価について 他2件</li> <li>(協議・報告事項)</li> <li>・中札内村スポーツ振興奨励事業補助金について</li> </ul>
11月 29日	<p>第8回 教育委員会定例会議 (議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第9期中札内村社会教育中期計画（案）について 他3件</li> <li>(協議・報告事項)</li> <li>・中札内村スポーツ振興奨励事業補助金について 他1件</li> </ul>
12月 21日	<p>第9回 教育委員会定例会議 (議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度区域外通学の許可について 他4件</li> <li>(協議・報告事項)</li> <li>・中札内村文化振興奨励事業補助金について</li> </ul>
1月 26日	<p>第10回 教育委員会定例会議 (議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中札内村外国語指導助手就業規則の一部を改正する規則について 他3件</li> <li>(協議・報告事項)</li> <li>・中札内村スポーツ振興奨励事業補助金について</li> </ul>
2月 27日	<p>第11回 教育委員会定例会議 (議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中札内村高校生育成支援金条例施行規則の一部を改正する規則について 他10件</li> <li>(協議・報告事項)</li> <li>・令和5年度教育予算要求の概要について 他3件</li> </ul>
3月 24日	<p>第12回 教育委員会定例会議 (議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中札内村要保護及び準要保護児童生徒就学援助認定要綱の一部を改正する訓令について 他8件</li> <li>(協議・報告事項)</li> <li>・中札内村文化振興奨励事業補助金について 他1件</li> </ul>

## 2 教育委員の活動状況

教育委員は月1回の定例会議や臨時会議に出席するほか、教育委員会事業や学校行事、各種団体等の行事、研修会に出席し、直接、学校教職員や地域の方々から意見を伺うなどの活動を行っています。

(※教育長業務を除く)

月 日	行 事 ・ 会 議 ・ 研 修	場 所	出席者
4月 4日	学校職員辞令伝達式	文化創造センター	教育長ほか
8日	小・中学校入学式	中小・中中	
8日	上札内小学校山村留学生受入式	上札内小学校	教育長ほか
21日	第1回教育委員会定例会議	文化創造センター	教育長ほか
5月 13日	十勝教育局義務教育指導監学校経営指導訪問	中札内中学校	教育長ほか
23日	十勝管内教育委員会連絡協議会定期総会	帯広市	教育長
24日	第2回教育委員会定例会議	文化創造センター	教育長ほか
24日	第1回地域協働型学校づくり協議会会議	文化創造センター	教育長ほか
26日	南十勝教育振興会総会	大樹町	教育長ほか
6月 22日	十勝教育局義務教育指導監学校経営指導訪問	中小・上小	教育長ほか
24日	教育委員と議会議員の意見交換会	文化創造センター	教育長ほか
27日	十勝教育局指導主事学校教育指導訪問	上札内小学校	参事ほか
28日	十勝教育局指導主事学校教育指導訪問	中小・中中	次長ほか
30日	教育委員会学校訪問	中中・中高養	教育長ほか
30日	第3回教育委員会定例会議	文化創造センター	教育長ほか
7月 15日	北海道市町村教育委員会研修会	札幌市	教育長ほか
22日	第4回教育委員会定例会議	文化創造センター	教育長ほか
26日	二村教育委員会連携教職員研修会	オンライン	参事ほか
8月 26日	第5回教育委員会定例会議	文化創造センター	教育長ほか
9月 5日	教育委員会学校訪問	中小・上小	教育長ほか

月 日	行 事 ・ 会 議 ・ 研 修	場 所	出席者
28 日	第 6 回教育委員会定例会議	文化創造センター	教育長ほか
10 月 5 日	第 2 回地域協働型学校づくり協議会会議	文化創造センター	教育長ほか
6 日	南十勝教育振興会教育長・教育委員・校長研修会	文化創造センター	教育長ほか
20 日	第 7 回教育委員会定例会議	文化創造センター	教育長ほか
11 月 1 日	十勝教育を考える集い	オンライン	教育長ほか
14 日	十勝管内教育委員研修会	オンライン	教育長ほか
28 日	十勝教育局義務教育指導監学校経営指導訪問	中小・上小・中中	教育長ほか
29 日	総合教育会議	文化創造センター	教育長ほか
29 日	第 8 回教育委員会定例会議	文化創造センター	教育長ほか
12 月 13 日	地域協働型学校づくり協議会研修会	文化創造センター	教育長ほか
21 日	第 9 回教育委員会定例会議	文化創造センター	教育長ほか
1 月 8 日	20歳を祝う会	文化創造センター	教育長ほか
26 日	第 10 回教育委員会定例会議	文化創造センター	教育長ほか
2 月 11 日	地域協働型学校づくり協議会教育講演会	文化創造センター	教育長ほか
27 日	二村教育委員研修会	更別村	教育長ほか
27 日	第 11 回教育委員会定例会議	文化創造センター	教育長ほか
3 月 2 日	中札内村スポーツ賞・文化賞等表彰式	文化創造センター	教育長ほか
15 日	中札内中学校卒業式	中札内中学校	教育長ほか
22 日	第 3 回地域協働型学校づくり協議会会議	文化創造センター	教育長ほか
24 日	中札内小学校卒業式	中札内小学校	教育長ほか
24 日	上札内小学校卒業式	上札内小学校	教育長ほか
24 日	第 12 回教育委員会定例会議	文化創造センター	教育長ほか

### 3 各種委員会等の活動状況

中札内村教育委員会に設置している主な審議機関は次のとおりで、令和4年度における開催実績等は次のとおりです。

名称	委員数	会議回数	内 容	開催年月日
地域協働型学校づくり 協議会	28	3	共育の日の理念である「地域の大人が力を合わせて子どもを育てる」ことの具現化を目指し、保護者及び地域住民が学校と一緒に学校づくりを推進する。	R4.5.24 他
教育支援委員会	17	3	就学予定者、学齢児童及び学齢生徒への適正な教育支援のための協議	R4.6.20 他
教育研究所	9	7	今日的な教育課題を受け、その解決のための方策及び教育実践に役立つ提案 ・家庭教育充実に向けた社会教育と学校教育の連携推進 ・小中高連携充実に向けた研究の推進	R4.5.12 他
社会教育委員	9	4	社会教育事業全般の諸計画立案、調査研究、事業実施状況確認による意見具申 ・社会教育中期計画の策定 ・文化賞等選考 ほか	R4.6.28 他
文化財専門委員	7	1	文化財の保存活用に関する諮問への答申、意見具申、調査研究 ・文化財の保護・保全 ・文化的所産の調査	R4.9.27
スポーツ推進委員	10	4	スポーツ振興に関する調査研究や大会の開催協議等 ・スポーツ推進委員関係事業計画 ・各種スポーツ大会への協力 ・スポーツ賞等選考 ほか	R4.6.21 他
学校給食運営委員会	8	1	学校給食の運営に関する意見	R4.10.21
スクールバス運行協議会	12	1	スクールバスの運行計画及び運行上の諸問題についての協議	R5.2.1

#### 4 令和4年度教育予算の執行状況

##### (1) 令和4年度教育費項・目別執行額状況

(単位：千円)

項 及 び 目	執 行 額	項 及 び 目	執 行 額
1項 教育総務費	309,165	1目 学校管理費	129,418
1目 教育委員会費	1,855	2目 特別支援学級費	160
2目 事務局費	72,405	4項 中学校費	33,285
3目 学校教育振興費	194,528	1 学校管理費	33,237
4目 国際交流推進事業費	8,731	2目 特別支援学級費	48
5目 スクールバス運行費	30,601	5項 社会教育費	238,036
6目 指導主事共同設置費	1,045	1目 社会教育総務費	36,299
2項 学校給食共同調理場費	70,488	2目 施設管理費	67,305
1目 管理費	28,226	3目 社会教育振興費	69,565
2目 業務費	42,262	4目 文化創造センター管理費	64,867
3項 小学校費	129,578	教育費合計	780,552

##### ○概要

教育費の決算額は、7億8千55万円余りで、前年比約115.5%、一般会計決算額に占める割合は11.9%です。前年より1億458万円余り増額しました。主な要因として、中札内小学校外部塗装・屋上防水等工事や小中学校エアコン設置設計委託及び工事などを実施したことによるものです。

##### 【事務局費】

「高等学校就学支援対策事業補助金」は、高校に通学する生徒の保護者に生徒一人あたり月1万円の助成を行っています。

「山村留学推進協議会補助金」は、上札内小学校の山村留学を推進する団体へ活動費を助成しています。また、「山村留学生補助金」は、山村留学世帯へ引越費用や児童一人につき月2万円の助成を行っています。

##### 【学校教育振興費】

学校特別支援員は、中札内小学校に5名、上札内小学校に1名、中札内中学校に2名を配置しています。

スクールカウンセラーは2名体制で、児童生徒に対する相談の他、保護者及び教員に対する相談等を行っています。

地域協働型学校づくり協議会（コミュニティ・スクール）は28人の委員を委嘱し、あいさつ・返事の取り組み、教育講演会の開催の他、新たに「共育」の場づくりと書く力の向上を目指して小学6年生を対象に小作文に取り組み、CS委員をはじめとする地域の方々に励みになるようコメントを書いていただき、子どもたちと関わりながら活動しています。

「GIGAスクール運営支援センター業務委託」は、ICT教育が進む中、運用面の技術的サポートを委託しています。

「小中学校エアコン設置設計委託及び工事」は、小中3校のエアコン設置に向けての設計及び令和5年度までの2カ年で工事をしています。

「村有住宅改修工事」は、上札内東団地の1戸を山村留学世帯向けに用途変更して改修しています。

「検定料補助金」は、これまでの英語検定の他に、漢字検定と数学・算数検定についても対象を拡大して3回分までの検定料の全額を助成しています。

「大学生等生活支援臨時給付金」は、コロナ禍による経済的負担を軽減するため、学生一人あたり5万円を給付しています。

#### 【国際交流推進事業費】

外国語指導助手は2名体制で、小中学校で指導を行っています。

青少年国際交流派遣事業は、新型コロナウイルス感染症のため、アメリカ・ハワイ州エバ・マカイ・ミドルスクールとの相互交流を中止しています。

#### 【学校給食共同調理場費】

地場産食材を使用した「ふるさと味覚給食」は年1回から2回に増やし、その他に児童のリクエスト給食など、子どもたちが楽しみにする給食と地域食材の提供に努めています。また、令和4年度から給食費を改定しましたが、子育て支援の観点から児童生徒の増額分については村が負担することで、保護者負担の軽減を図っています。

#### 【小学校費】

中札内小学校校舎の長寿命化を図るため、令和4年度から2カ年の継続事業で外部塗装・屋上防水等工事を実施しています。

ICT教育の推進を図るため、小学校2校にタブレット学習教材を導入しています。

上札内小学校体育館の照明をLED灯へ交換しています。

中札内小学校に校務支援システムを導入し、教職員の業務軽減と効率化を図っています。

#### 【中学校費】

令和6年度入学の1年生が2クラスにより普通教室を増設する必要があるため、令和5年度の教室増設着工に向けて設計を行っています。

ICT教育の推進を図るため、中学校にタブレット学習教材を導入しています。

校務支援システムを導入し、教職員の業務軽減と効率化を図っています。

### 【施設管理費】

上札内交流館、村民体育館、プール、屋内多目的運動施設、屋外運動場などに係る支出です。

体育館備品として、コードレスバイク 2 台やストレッヂマット、バランスボールラックを購入しています。

### 【社会教育振興費】

文化振興費の「文化振興奨励事業補助金」は、村民が企画したコンサートや趣味・実用講座に対し補助金を交付した他、音まちプロジェクトの事業費でコンサートを 5 事業開催し、併せて動画配信やファツィオリピアノの試弾会を実施して多くの方にピアノの魅力を知っていただく事業を開催しています。

児童生徒が美術作品や音楽などの芸術を身近に感じる機会として、武蔵野美術大学と昭和音楽大学の学生を招いて行っている「子どもアート事業」は、新型コロナウイルス感染症により中止しています。

体育振興費の「運動教室」は、コロナ禍の運動不足解消などのため、トレーニングマシンの指導を含めて運動教室を 3 事業開催しています。

中札内交流の杜管理費の「交流の杜体育館床アスベスト調査委託」は、令和 5 年度の体育館床の張替工事に向けてアスベスト調査を実施しています。

### 【文化創造センター管理費】

ホール可動席修繕工事は、令和 3 年度に行ったハーモニーホールの可動席修繕工事の内、交換部品に使用している半導体の不足から年度内の調達ができず、一部の修繕を令和 4 年度に予算を繰り越して実施しています。

ホールステージ床改修工事は、劣化した床板の張替を行っています。

## (2) 令和 4 年度の主な事業

(単位：千円)

事 業 名	事 業 概 要	執 執 額
高等学校就学支援対策事業補助金	高校に通学する生徒の保護者に生徒一人あたり月 1 万円を助成します。	11,650
通学費等助成事業補助金	高校生等の通学に係るバス定期運賃、下宿代金の一部を助成します。所得制限あり。	773
検定チャレンジ受験料補助金	英語検定、漢字検定、数学・算数検定の検定料の全額を助成します。	324
山村留学推進協議会補助金	上札内小学校の山村留学を推進する団体へ活動費を助成します。	402
山村留学生補助金	山村留学世帯へ引越代や児童一人につき月 2 万円を助成します。	1,500

事業名	事業概要	執行額
永井明奨学資金貸付金	経済的理由によって就学が困難な方に対し、無利子の奨学金を貸付します。	2,320
中札内村及び更別村指導主事共同設置費及び人件費	教育専門職の指導主事を配置し、学校経営や教育課程編成に関する指導助言、学校現場の実態把握や課題に対応するための支援を行います。	10,884
学校特別支援員配置事業	小・中学校において、生活指導や学習補助等のサポートを行います。 中小5名、上小1名、中中2名	19,370
スクールカウンセラー配置事業	2名を配置し、児童生徒、保護者、教職員の相談に対するカウンセリングを実施し、心のケアや助言を行います。	1,548
語学指導講師配置事業	外国語指導助手2名を配置し、小学校では外国語活動のサポートを行い、中学校では語学講師による英語授業のサポートや教員とのチーム・ティーチングによる外国語教育を実施し、保育園での英語活動も行います。	8,731
中札内村地域協働型学校づくり協議会（コミュニティ・スクール）	共育の日の取組を発展させて、小中学校3校に学校運営協議会を設置し、地域とともににある学校づくりを進めます。	1,282
中札内小学校外部塗装・屋上防水等工事	中札内小学校校舎の長寿命化を図るため、令和4年度から2年間で外部塗装と屋上防水の工事を実施しています。	74,983
上札内小学校体育館LED化工事	上札内小学校体育館の水銀灯をLED灯へ交換しています。	6,710
中札内中学校普通教室増設設計委託	普通教室増設工事の令和5年度着工に向けて設計を行っています。	7,095
小中3校エアコン設置設計委託及び工事	小中3校のエアコン設置に向けての設計と令和4年度から2年間で工事を実施しています。	設計 7,645 工事 57,770
村有住宅改修工事	公営住宅の1戸を山村留学世帯向けに改修しています。	6,362
大学生等生活支援臨時給付金	コロナ禍による経済的負担を軽減するため、学生一人あたり5万円を給付します。	3,450
アートの村づくり推進事業	文化振興奨励事業補助金を活用し、音まちプロジェクトとして音楽イベントを行います。	2,864
文化振興奨励事業補助金	コンサート等の村民が企画・運営する事業に対して助成します。	4,688

事 業 名	事 業 概 要	執行額
スポーツ振興奨励事業補助金	各種スポーツ大会の参加旅費の助成、スポーツ団体、中札内ピータンスポーツクラブの活動に對して支援します。	921
運動教室	コロナ禍の運動不足解消などのため、トレーニングマシンの指導を含めた運動教室を開催します。	901
上札内交流館管理委託費	フロンティア会議と指定管理協定を締結し、上札内交流館の管理を委託しています。	10,402
札内川総合運動公園・PG場管理委託費	札内川総合運動公園と上札内パークゴルフ場の管理を十勝広域森林組合に委託しています。	12,430
中札内村民プール管理委託費	株式会社ニサカにプール管理を委託し、利用促進に取り組んでいます。	8,416
中札内交流の杜管理委託費	株式会社ユービックと指定管理協定を締結し、中札内交流の杜の管理を委託しています。	31,261
音響・照明及び図書館業務委託費	Be-in 俱楽部に文化創造センターホールの音響・照明操作と図書館業務を委託しています。	16,247
文化創造センターホールステージ床改修工事	ステージ床板の張替を実施しています。	5,159

※国際交流事業、川越市中学生との交流事業は、新型コロナウイルス感染症により中止しています。

## 5 令和4年度教育委員会の事務事業執行状況等

### (1) 学校教育

#### ①学校別学級・児童生徒・教職員数（毎年5月1日現在）

区分	学級数		児童生徒数		教職員数	
	3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度
中札内小学校	(7) 14	(7) 14	(30) 219	(35) 213	24	24
上札内小学校	(2) 5	(2) 5	(4) 14	(4) 15	8	8
計	(9) 19	(9) 19	(34) 233	(39) 228	32	32
中札内中学校	(5) 8	(4) 7	(16) 109	(15) 118	20	19

( ) は特別支援学級数及び特別支援学級児童生徒数で内数

#### ②年度別学校児童生徒数（毎年5月1日現在）

区分	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(参考)
中札内小学校	211	208	217	219	213	203
上札内小学校	14	16	16	14	15	20
計	225	224	233	233	228	223
中札内中学校	98	107	110	109	118	111

#### ③学校別給食日数

区分	1学期	2学期	3学期	計
中札内小学校	67日	88日	47日	202日
上札内小学校	68日	85日	45日	198日
中札内中学校	70日	87日	47日	204日
調理場	71日	88日	47日	206日
試食・その他	1回	3回	3回	7回

※調理場稼動日数 206日 総給食数 80,831食

#### ④学校給食主食形態別内訳及び牛乳飲用数

区分	米飯	パン	麺類	計	飲用牛乳
回数	123回	42回	41回	206回	196回

## (2) 社会教育

### ①事業

#### [主催事業]

事業名	月日	場所	摘要
ポロシリ大学 *入学式	6月10日	文化創造センター	学生在籍 66 名 学生 56 名
*定例授業 村の新しい取り組み	7月8日	文化創造センター	学生 34 名
更別村末広学級とスポーツ交流	8月24日	更別村	学生 21 名
SDGsについて	9月16日	文化創造センター	学生 31 名
ファツィオリピアノ演奏鑑賞会	10月28日	文化創造センター	学生 28 名
更別村末広学級と文化発表交流	11月11日	文化創造センター	学生 38 名
人生の心づもり（医療・介護）	12月9日	文化創造センター	学生 28 名
デジタルとライフスタイル	1月13日	文化創造センター	学生 32 名
昔のあそび	2月10日	文化創造センター	学生 25 名
*クラブ活動 陶芸、カラオケ、大正琴、書道 舞踊、スポーツ、コーラス			
図書館事業 *図書館ボランティア	通年		登録 16 名
*土曜おはなし会 *ブックスタート・ブックフレンド *ベビー&キッズタイム	第2第4土曜 随時 第3水曜	図書館 図書館 図書館	
*本の病院	4月23日 ～5月8日	図書館	11名 修復冊数 13 冊
*「おいしいれのぼうけん」複製 原画展	4月23日 ～5月9日	図書館	
*図書館お仕事チャレンジ講座	4月30日	図書館	子ども 4 名
*おはなし音楽会	6月11日	文化創造センター	子ども 49 名 大人 48 名
*おはなし会夏のスペシャル	7月23日	文化創造センター	子ども 37 名 大人 31 名
*ボードゲーム会	7月31日	文化創造センター	子ども 5 名 大人 3 名
*夏休み工作会	8月4日	文化創造センター	子ども 15 名
*スマホで図書館を使いこなす	8月21日	図書館	大人 3 名

* 絵本作家 高畠那生さんの 本のはなしとワークショップ	10月 15 日	文化創造センター きらきら保育園	子ども 24 名 大人 24 名  園児 77 名
* 絵本作家 宮西達也さんの おはなし会	10月 24 日		
* 本の病院	10月 27 日 ～11月 9 日	図書館	15 名 修復冊数 15 冊
* 古本市	11月 19～26 日	文化創造センター	
* おはなし会冬のスペシャル	12月 11 日	文化創造センター	子ども 59 名 大人 42 名
* ボードゲーム会	12月 3 日	文化創造センター	子ども 14 名 大人 9 名
* やさしい朝ヨガ	1月～3 月	図書館	延べ大人 54 名
* 冬休み工作会	1月 7 日	文化創造センター	子ども 3 名
* 初心者写真教室	2月 18 日	文化創造センター	大人 8 名
* 上の句かるた教室	2月 23 日	文化創造センター	子ども 9 名
* おはなし音楽会	3月 25 日	文化創造センター	子ども 79 名 大人 75 名
ジュニアアウトドアスクール	7月 26～28 日	ネイパル足寄	小学 3・4 年生 25 名 サブリーダー 6 名 大学生 1 名
生き生き自然体験隊 (中札内村・南砺市自然体験交流事業)	8月 8・9 日	上札内交流館他	小学 5・6 年生 13 名 サブリーダー 2 名
芸術鑑賞事業 (更別村共催)	8月 30 日 9月 1 日 9月 6 日 9月 14 日	文化創造センター	小学高学年 214 名 中学生 219 名 未就学児 132 名 小学低学年 116 名
ジェイコブ・コーラー Enjoy コンサート	5月 14 日	文化創造センター	230 名
マルティン・ガルシア・ガルシア ピアノリサイタル	6月 9 日	文化創造センター	400 名
フォルテ FAZIOLI コンサート	9月 17 日	文化創造センター	145 名
明和電機ナンセンスマシーン コンサート	11月 12 日	文化創造センター	223 名
村松 健ピアノコンサート	3月 12 日	文化創造センター	77 名
ファツィオリピアノ試弾会	11月 19 日	文化創造センター	10 組 17 名
楽器に触れて文化祭に出演しよう	7月～ 練習 11月 3 日発表	文化創造センター	3 名
えいごであそぼう キッズ・イングリッシュ	12月 3 日 3月 11 日	中札内小学校 文化創造センター	9 名 69 名

生涯学習講座 *ハーバリウム講座 *コーヒー講座 *資産運用講座 *整理収納講座	10月5日 12月14日 12月19日 3月14日	文化創造センター	5名 8名 35名 14名
中札内村20歳を祝う会	1月8日	文化創造センター	20歳21名

[関連事業]

事 業 名	月 日	場 所	概 要
地域協働型学校づくり協議会 (コミュニティ・スクール)	5月24日 10月5日 3月22日	文化創造センター	
地域協働型学校づくり協議会 自立支援協議会と合同研修会	12月13日	文化創造センター	39名
地域協働型学校づくり協議会 「共育の日」教育講演会	2月11日	文化創造センター	35名
子ども会育成連絡協議会 夏季野外レクリエーション	9月4日	文化創造センター	子ども31名
子ども会育成連絡協議会 冬季野外レクリエーション	2月19日	文化創造センター	子ども86名
文化連盟 *加盟団体作品展示会	2月15日 ～3月1日	文化創造センター	
ジュニアスポーツ賞・文化賞等 授賞式	3月2日	文化創造センター	ジュニアスポーツ賞等 4団体 13個人 文化賞等 3団体 7個人
○村民文化祭 *作品展示	10月28日 ～11月6日	文化創造センター	25団体3個人
*オステージ・式典	11月3日	文化創造センター	11団体1個人
○文化月間事業 *からまつ館一般公開	11月2日～4日	からまつ館	
*タテタカコ ピアノコンサート	11月5日	文化創造センター	
*西本裕矢ピアノリサイタル	11月13日	文化創造センター	
*学校コンサート	11月21日	文化創造センター	
*アコースティック・バンド ライブ	11月26日	文化創造センター	

②文化賞等受賞者

文化賞 片山勇一郎氏、松本愁也氏、須貝亮太氏  
文化奨励賞 菅野辰幸氏

③文化振興奨励事業補助金

事業名	助成額	交付先
アートの村づくり推進事業（音まちプロジェクト他）	2,863,926 円	中札内村アート事業
中札内村ワシコイン上映委員会による上映会・演奏会	714,769 円	中札内村ワシコイン上映委員会
育つ庭音楽会 tricoior	673,233 円	育つ庭
アレキシ・ロマン フルートコンサート	647,137 円	ミュージックサロン
アーツスプレッドプロジェクト	500,000 円	アーツスプレッド中札内村実行委員会
KAGURAワークショップ事業	105,000 円	KAGURA実行委員会
KAGURA公演	1,500,000 円	KAGURA実行委員会
石見神楽蛇胴購入	150,776 円	元更別大国神社石見神楽保存会
藤原千也展 2022	336,909 円	藤原千也展実行委員会

④社会教育委員活動

会議名	期日	場所	出席者数
第1回社会教育委員会議	6月28日	文化創造センター	
第2回社会教育委員会議	7月21日	文化創造センター	
第3回社会教育委員会議	9月29日	文化創造センター	
北海道社会教育研究大会	10月14日	オンライン	委員3名
第4回社会教育委員会議	11月8日	文化創造センター	
十勝社会教育委員長等研修会	11月15日	芽室町	委員2名
南十勝社会教育委員研修会	11月17日	大樹町	委員4名
十勝社会教育委員研修会	2月28日	芽室町	委員2名

⑤文化財専門委員活動

会議名	期日	場所	出席者数
文化財専門委員会議	9月27日	文化創造センター	
ウポポイ視察	10月19日	白老町	委員5名

(3) 体育振興

①施設関係

施設名	期日	摘要
札内川総合運動公園	4月29日～10月31日	
上札内交流広場パークゴルフ場	5月7日～10月31日	
村民プール「すいすい」	5月21日～9月19日	
屋外ゲートボール場	4月29日～10月18日	

②村民スポーツ大会

大会名	期日	場所	摘要
ソフトボール大会	一	一	コロナ感染症により中止
パークゴルフ大会	9月25日	札内川総合運動公園	31名
登山会	10月1日	白雲山	16名
ゲートボール大会	11月27日	屋内多目的運動施設	24名
ミニバレー大会	1月22日	村民体育館	19名(4チーム)
卓球大会	2月12日	交流の杜体育館	17名
ボッチャ大会	2月21日	交流の杜体育館	27名(8チーム)
バドミントン大会	3月19日	村民体育館	48名

③各種大会

大会名	期日	場所	摘要
日本クラブユース(U-15) サッカー選手権大会	8月15日 ～8月20日	中札内交流の杜	48チーム
ファミリーマラソン大会	一	一	雨天により中止

④主催事業・教室

大会名	期日	場所	摘要
水泳教室&水中エクササイズ	6月13日 ～8月4日 (24回)	村民プール	延べ97名
北海道十勝スカイアース 講演会&運動教室	9月10日	中札内小学校	25名

トレーニングサポートプログラム①	8月20日 ～9月17日 (4回)	村民体育館	延べ38名
トレーニングサポートプログラム②	10月15日 ～11月19日 (4回)	村民体育館	延べ37名
トレーニングサポートプログラム③	12月10日 ～1月21日 (4回)	村民体育館	延べ40名
ちくだいKIP連携事業 ヘルスケアプログラム①	9月16日 ～10月21日 (6回)	保健センター	延べ103名
ちくだいKIP連携事業 ヘルスケアプログラム②	10月28日 ～11月25日 (6回)	保健センター	延べ100名
ちくだいKIP連携事業 運動習慣プログラム	12月2日 ～1月27日 (9回)	中札内中学校	延べ197名
親子スケート教室	1月23日 24日	村民スケートリンク	延べ16名
小学生スキー教室	2月17日 18日	白銀台スキー場	延べ25名

#### ⑤スポーツ推進委員活動

会議名	期日	場所	出席者数
第1回スポーツ推進委員会議	6月21日	文化創造センター	
南十勝スポーツ推進委員研修会	7月26日	広尾町	委員2名
十勝スポーツ推進委員研修会	9月25日	帯広市	委員2名
第2回スポーツ推進委員会議	10月4日	文化創造センター	
北海道スポーツ推進委員研究協議会	10月13日 ～14日	釧路市	委員2名
第3回スポーツ推進委員会議	1月18日	文化創造センター	
第4回スポーツ推進委員会議	3月	書面開催	

#### ⑥中札内ピータンスポーツクラブ

事業名	月日	開催場所	参加者数
ジュニア部会 *ダンス	毎週月曜日	文化創造センター	
一般・シニア部会 *つながるヨガ	毎週木曜日	村民体育館	

全会員 *ズンバ	毎週月曜日	交流の杜、又は文化創造センター	
特別企画 *キッズダンス＆リズム *ダンス発表 *ベリーダンス教室	10月13・20日 11月3日 10月12日 ～12月21日	村民体育館 文化創造センター 文化創造センター	延べ13名 19名 全6回 延べ33名
交流の杜まつり	12月10日	中札内交流の杜	43名

⑦スポーツ振興奨励事業補助金

事業名	助成額	交付先
中札内ピータンスポーツクラブ	401,312円	ピータンスポーツクラブ
スポーツ団体活動	290,000円	山岳会、ゲートボール協会、パークゴルフ協会、剣道連盟、野球協会、卓球同好会

⑧学校開放事業

	中札内小学校	上札内小学校	中札内中学校
4月	バレーボール少年団 9回 サッカーボー少年団 10回	バドミントンクラブ 5回	剣道少年団 2回
5月	バレーボール少年団 15回 ポロシリ太鼓 3回 サッカーボー少年団 1回	バドミントンクラブ 7回	剣道少年団 4回
6月	バレーボール少年団 14回 ポロシリ太鼓 5回 サッカーボー少年団 1回	バドミントンクラブ 8回	剣道少年団 4回 バドミントン少年団 2回
7月	バレーボール少年団 14回 ポロシリ太鼓 5回 サッカーボー少年団 1回	バドミントンクラブ 7回	剣道少年団 2回 バドミントン少年団 1回
8月	バレーボール少年団 13回 ポロシリ太鼓 4回	バドミントンクラブ 4回	剣道少年団 2回
9月	バレーボール少年団 16回 ポロシリ太鼓 5回 スケート運動教室 1回	バドミントンクラブ 7回 元更別石見神楽保存会 2回	剣道少年団 2回
10月	バレーボール少年団 5回 ポロシリ太鼓 5回 サッカーボー少年団 2回	バドミントンクラブ 8回 バレーボール少年団 5回	剣道少年団 3回 バレーボール少年団 12回

11月	バレーボール大会 2回 バレーボール少年団 11回 サッカー少年団 8回 ポロシリ太鼓 3回	バドミントンクラブ 6回	剣道少年団 4回
12月	バレーボール少年団 6回 サッカー少年団 9回 ポロシリ太鼓 1回	バドミントンクラブ 5回	剣道少年団 3回 バレーボール少年団 1回 運動習慣プログラム 4回
1月	バレーボール少年団 13回 サッカー少年団 7回 ポロシリ太鼓 1回	バドミントンクラブ 4回	ソフトテニス 1回 運動習慣プログラム 5回
2月	バレーボール少年団 6回 サッカー少年団 7回 ポロシリ太鼓 2回	バドミントンクラブ 6回	剣道少年団 3回 バレーボール少年団 5回
3月	ポロシリ太鼓 1回	バドミントンクラブ 4回	剣道少年団 3回 バレーボール少年団 3回

## 6 令和4年度 教育委員会の政策評価

### (1) 評価の目的

事務事業の現状把握と決算重点主義への転換、計画（Plan）・実施（Do）・評価（Check）・改善（Action）というサイクル化による事務事業管理（マネジメント）の確立のため、まちづくり計画の政策単位による評価を行っています。

### (2) 評価の区分

- ①政策重視、スクラップ・アンド・ビルトの原則のもと、事務局による所管事業の一次評価
- ②教育に関し学識経験を有する者の知見による指導助言
- ③教育委員会議による一次評価に対する最終評価

### (3) 評価と改善の方向

令和4年度の取組を自己評価し、課題と問題点に対する改善の方向を明確にして、次年度以降の執行に当たり効果的な教育行政の運営を目指します。

### (4) 評価書総括表

まちづくりの基本目標	方 向 性	政 策
文化と学びが紡ぐ まちづくり	学びを育てるまち	幼児教育の充実
		学校教育の推進
	心豊かに暮らせるまち	社会教育・生涯学習の推進
		国際・地域間交流の推進
		文化・芸術、スポーツの振興

# 令和4年度実施事業に関する政策評価書

基本目標	3	編	文化と学びが紡ぐまちづくり	評価点	4点	担当課 教育委員会教育グループ
方向性	1	章	学びを育てるまち	評価点	4点	
政策	1	節	幼児教育の充実	評価点	4点	

## (1) 主要な施策・事業の評価

前期基本計画の主要な施策・事業	実施状況・成果／課題／方向性			評価
1. 保護者の学習活動や読書活動の促進(教育委員会教育グループ)				評価点 4点
(1) 自主学習支援としての生涯学習自主企画講座、社会教育活動振興助成事業の利用促進・普及啓発を図ります。	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報等による周知の他、社会教育委員に呼びかけ、講座を企画してもらうことで口コミ等による周知を図った。</li> <li>・令和5年度に向けて自主企画講座を文化振興奨励事業から社会教育振興事業へ移行し、講師謝礼だけでなく、会場使用料も助成対象にして拡大した。他の補助メニューについても、補助率を拡大した。</li> </ul> <p>(村民が企画する講座) R3 2件 R4 7件</p>		
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助を利用した講座の紹介も含め、SNS等で周知することが必要。</li> </ul>		
	方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、社会教育委員にも利用していただきながら、口コミ等も含めて周知を図っていく。</li> </ul>		
(2) ブックスタート事業(7・8ヶ月)・ブックフレンド事業(3歳)や保育園読書活動支援など、幼児期から本に親しむことのできる環境づくりを進めます。	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックスタート事業及びブックフレンド事業、保育園読書活動支援など、幼児期から本に触れる機会を提供している。</li> </ul> <p>(ブックスタート) R3 24件 R4 28件 (ブックフレンド) R3 15件 R4 23件 (保育園訪問) R3 13件 R4 7件</p>		
	課題	<p>読書活動支援ボランティアの新たな人材確保</p>		
	方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園との連携を強化し、幼児期からの読書活動を支援していく。</li> </ul>		
2. 幼児教育に関わる関係機関などとの連携(教育委員会教育グループ)				評価点 4点
(1) 支援が必要な幼児の情報を共有するため、子育て支援センター・保育園・小学校との情報交換会を開催し、就学時の合理的配慮の提供に努めます。	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関による教育支援委員会を開催し、就学時の特別支援学級の判定や必要な支援について協議、情報交換を行っている。</li> </ul>		
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学級に在籍する児童が増えている傾向にあり、学習上・生活上の困り感を改善・克服するための自立活動をより計画的に取り組む必要がある。</li> </ul>		
	方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の指導計画を基に、児童個々の自立活動の充実に努める。</li> </ul>		
(2) 幼児教育から小学校への円滑な接続を図る観点から、保育園等との情報共有、連携に取り組みます。	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育支援委員会での情報交換のほか、学校教育振興会の地域連携部の取組として、保小情報交換会を開催し、小学校への円滑な接続に向けた連携や情報共有を行っている。</li> <li>・新入学児童の理解を深める目的で、2月に実施する知能検査には小学校教員が参観している。</li> </ul>		
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に小学校就学時に特別支援学級在籍を視野に入れている保護者や園児に向けた授業参観の周知が必要。</li> </ul>		
	方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に対し、小学校授業参観の積極的な周知を行う。</li> </ul>		

**評価目安(達成割合):**  
超過達成5点(10割超)、達成4点(10割)、概ね達成3点(9割)、やや未達成2点(8~7割)、未達成1点(6割以下)、実施なし0点

**②村長評価(村長ヒアリングによる評価)**

・保育園でのキッズ・イングリッシュは、年3回で動機付けになり抵抗感をなくす効果があるなら良い。回数を増やすことで職員の負担にならないようであれば回数を増やすことを検討すること。

**③村民評価(総合行政推進委員会による評価)**

・意見等なし。

# 令和4年度実施事業に関する政策評価書

基本目標	3	編	文化と学びが紡ぐまちづくり	評価点	4点
方向性	1	章	学びを育てるまち	評価点	4点
政策	2	節	学校教育の推進	評価点	4点

担当課
教育委員会教育グループ
教育委員会学校給食共同調理場

## (1) 主要な施策・事業の評価

前期基本計画の主要な施策・事業	実施状況・成果／課題／方向性	評価
1. 組織的・機動的な学校教育の推進(教育委員会教育グループ)		評価点 4点
(1) 確かな学力の向上、豊かな人間性の育成、健やかな心身の育成に取り組みます。 【公約3-2、3-6】	<p>実施状況</p> <p>検定料の補助については、英語検定に加え、漢字検定と算数・数学検定を新たに对象とした。また同一級の受験回数の見直しを行い、チャレンジしやすい環境とし受験を促進した。</p> <p>デジタル環境については、上札内小学校にも光回線のサービス提供が始まり切り替えを行った。GIGAスクール運営支援センターによる教職員のサポートを行った。</p> <p>課題</p> <p>デジタル教育の推進に対応するためのタブレット等の更新の検討</p> <p>方向性</p> <p>今後、全国的に一斉に更新時期を迎えるため、国の補助金などの財源措置も見据えながら更新の検討を行う。</p>	4点
(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組みます。	<p>実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年度当初の校長等会議で、教育行政執行方針の主旨や村で目指す授業の姿等を伝え、各校で日常的に取り組んでいる。</li> <li>十勝教育局指導主事訪問での助言活用や参観日・学校訪問の授業参観で気付いた点を村指導参事から指導助言している。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教員の意識に差がある。</li> </ul> <p>方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研修機会の提供、授業改善に向けた学校の組織的な取組や教員の授業改善に向けた意欲の喚起を根気よく継続していく。</li> </ul>	4点
(3) 学力向上に向けた検証改善サイクルの確立を進めます。	<p>実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各校で組織的に学力向上に向けた検証改善サイクルの確立に努めている。</li> <li>小中9年間で積み重ねる取組(基本的な授業過程や板書、家庭学習の取組等)を年度当初の校長等会議で伝え、情報共有を行っている。</li> <li>学力体力向上等サポート会議で村内3校の全国学力・学習状況調査結果、成果、課題、改善策を交流し、3校共通して取り組む内容を情報共有している。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課題を明確にした各校での日常的な実践の継続。</li> </ul> <p>方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、検証改善サイクルに取り組む。</li> </ul>	4点
(4) コミュニケーション能力の育成のための言語活動の充実と体験活動を推進します。	<p>実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ALT2名の配置と小学校の英語専科加配により、英語教育の充実に取り組んでいる。</li> <li>英語専科加配については、文部科学省の事例集にも取り上げられた。</li> <li>村内3校共に教育活動全体で言語活動や体験活動を通じたコミュニケーション能力育成に努めている。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育活動全体で伝える喜び、伝わる感動を児童生徒が実感できる取組や声かけの継続。</li> </ul> <p>方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>継続的にコミュニケーション能力の向上に努める。</li> </ul>	4点

(5)	地域協働型学校づくり協議会(コミュニティ・スクール)による地域の人材を活用した教育活動の学習支援を行います。	実施状況	・学校の要請に応じて、スキー教室や読み聞かせなど、学校支援ボランティアによる教育活動への支援を行っているほか、職場体験の受入先の事業所との調整を行っている。 新たに小6を対象に書く力をつけるため朝作文を実施し、CS委員によるコメント書きをはじめた。	4点
		課題	・取組は進めているがコミュニティスクールの保護者や地域への認知度は高くなない。	
		方向性	・効果的な情報発信に取り組む。	
2. 國際社会に対応しうる外國語教育の推進(教育委員会教育グループ)				評価点 3点
(1)	英語でのコミュニケーション能力の向上を図るために各種事業を実施するとともに、国際交流派遣研修事業での相互訪問交流を学校全体での取組とし、国際社会に対応しうる教育を推進します。	実施状況	令和元年3月 村からの派遣 令和元年12月 ハワイからの受入 令和2年3月 村からの派遣(コロナの影響で7月に延期したが中止) 令和3年3月 オンライン交流 令和3年度、4年度については、コロナの影響で相互交流は中止	2点
		課題	・ハワイとの相互交流が定着する前にコロナによる中止となっており、改めて事業を構築する必要がある。	
		方向性	・事業を再開し、持続可能な取り組みになるよう実施方法を調整する。	
(2)	外國語指導助手を配置し、児童生徒が生きた外國語に触れる機会を充実します。	実施状況	小学校に1名、中学校に1名を配置した。 中学校配置の指導助手については、令和4年度で任期満了となるため、新たな指導助手の選考を行った。	4点
		課題	保育園で開催している英語教室について、年中児・年長児がより参加しやすい内容を求められている。	
		方向性	保育園の英語教室については、講師の変更を行い、小学校に配置している指導助手が担うこととする。	
(3)	英語検定等の受験促進のための検定料の助成を行います。  【公約3-2】	実施状況	英語検定だけでなく、漢字検定、算数・数学検定を新たに助成対象に追加し、同一級の再チャレンジを可能にするため、交付回数の見直しを行った。 (同一級1回→級関係なく年3回)	4点
		課題	受検者の増加による教員の負担増への対応	
		方向性	学校に配置している支援員も活用し、教員の負担軽減を図る。 早い段階で英検3級を合格する生徒もいるので、その場合は、3回の助成に英検を含まなくても可能とする。	
3. 特別支援教育の推進(教育委員会教育グループ)				評価点 4点
(1)	子ども一人一人に応じた支援が行えるよう情報共有を行い、中札内高等養護学校の専門教諭による巡回相談事業の活用や指導助言、教育支援委員会での適切な就学の判定などにより、子ども一人一人に応じた支援を行います。	実施状況	関係機関による教育支援委員会を開催し、就学時の特別支援学級の判定や必要な支援について協議、情報交換を行っている。 委員会のメンバーに、小中学校や保育園だけでなく、子育て支援センターや中札内高等養護学校職員、南十勝こども発達支援センター、スクールカウンセラーなど様々な方で構成している。	4点
		課題	・特別支援学級に在籍する児童が増えている傾向にあり、学習上・生活上の困り感を改善・克服するための自立活動をより計画的に取り組む必要がある。	
		方向性	・個別の指導計画を基に、児童個々の自立活動の充実に努める。 ・交流・共同学習では、自立活動の目標を明確にした取組を継続する。	

(2) 特別支援員を配置し、きめ細やかな支援を行います。	実施状況	各校の特別支援学級の状況に応じて、特別支援員の配置を行っている。また、医療的ケアを必要とする児童のため、必要に応じ看護師の派遣を行っている。	4点
	課題	特別支援員の人材の確保	
	方向性	教員免許を有する職員を基本として、人材を確保していく。 医療的ケアを必要とする児童については、引き続き支援を行っていく。	

4. ふるさと教育の推進(教育委員会教育グループ)	評価点	4点
---------------------------	-----	----

(1) 地域の特色を生かした体験学習や職業体験、学校支援ボランティアの充実などにより、郷土を愛し、ふるさとを大切にする心の教育に取り組みます。	実施状況	地域協働型学校づくり協議会を通じ、地域の特色を生かした体験学習や職業体験への支援、学校支援ボランティアによる教育活動への支援を行っている。 中学3年生では、3年間の体系的なふるさと教育の総括として模擬議会に取り組んでいる。	4点
	課題	地域に協力いただき、順調に取組を進めており大きな課題はない。	
	方向性	引き続き、地域の協力を得ながら取組を進める。	

5. ICTの活用・充実(教育委員会教育グループ)	評価点	4点
---------------------------	-----	----

(1) 情報通信技術(ICT)を効果的に活用した授業を展開します。 【公約3-1】	実施状況	児童生徒1人1台端末を活用するため、デジタル教科書やデジタルドリルの導入を行った。またGIGAスクール運営支援センターを開設し、機器の不具合への対応や教職員への相談体制を整備した。	4点
	課題	デジタル教育の推進に対応するためのタブレット等の更新の検討	
	方向性	今後、全国的に一斉に更新時期を迎えるため、国の補助金などの財源措置も見据えながら更新の検討を行う。	

(2) ICT関係教材の充実と活用のための研修機会の提供を行います。 【公約3-1】	実施状況	デジタル備品導入時の操作説明の他、GIGAスクール運営支援センターによる相談対応を行っている。また、村教育研究所で「小中学校ICT活用事例集」を作成し、各校の効果的な取組の共有を図った。	4点
	課題	継続的なICT教材活用の研修が必要である。	
	方向性	各校の取組や先進事例を共有するとともに、学校のニーズに応じた研修を行う。	

(3) 情報の正しい選択の方法やルール、マナーの指導を行います。 【公約3-1】	実施状況	・本村における情報モラル教育とは「進展が予想される情報社会でより良く生きていくための考え方や態度(資質・能力)を学ぶ教育」であるとの考え方のもと、学習指導要領における情報モラル教育の内容を整理し、小中9年間の体系的な情報モラル指導計画表及びチェックリストを作成した。	4点
	課題	・小中9年間の体系的な情報モラル指導計画表及びチェックリストを日常的に意識すること。	
	方向性	・教育活動全体の中で、小中9年間の体系的な情報モラルの指導を日常的に意識できるよう組織的な取組を継続する。	

6. 道徳教育の推進(教育委員会教育グループ)			評価点	4点
(1) 小中学校9年間の指導計画による体系的な道徳教育を推進し、特別の教科である道徳を要として各教科や学校での活動の特質に応じ、義務教育期間の発達段階を考慮して適切に指導します。	実施状況	・小中学校9年間の指導計画による体系的な道徳教育を推進し、各教科や学校での活動の特質に応じ、発達段階を考慮して適切に指導している。		
	課題	・道徳科の価値項目を意識した「考え・議論する道徳」の授業実践を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てることを継続する。		
	方向性	・道徳科の価値項目を意識した「考え・議論する道徳」の授業実践を継続していく。 ・道徳教育が、豊かな心、確かな学力、健やかな体の基盤となり、生きる力を育む極めて重要なものであることを職員に伝えていく。		
7. 健やかな心身の成長を促す教育の推進(教育委員会教育グループ)			評価点	4点
(1) 体力テスト結果の分析により、子どもの体力・運動能力の実態を把握し、体力向上の取組を進めます。	実施状況	「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果の分析を基に、学力・体力向上等サポート会議で検証し、授業改善につなげている。		
	課題	毎年の検証サイクルを確立しており、大きな課題はない。		
	方向性	引き続き毎年開催し、検証改善サイクルを図る。		
(2) いじめや不登校を発生させないため、学校組織をあげた子どもの変化の早期気づきと適切な対応、スクールカウンセラーによる相談・支援体制の充実を図ります。	実施状況	年に複数回の児童・生徒アンケートによる実態把握や、おなやみポスト等相談窓口の対応、スクールカウンセラーによる支援体制の構築、3校の児童会・生徒会による、いじめの根絶に向けた「子ども会議」開催などの取組を行っている。		
	課題	学校での実態把握や相談体制の充実により、現状では大きな課題はない。		
	方向性	取組を継続し、いじめの防止や兆候の早期発見・早期対応に努める。		
(3) 特別の教科である道徳を要として各教科や学校での活動の特質に応じ、義務教育期間の発達段階を考慮して適切に指導します。	実施状況	道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる指導を行っている。		
	課題	現状では大きな課題はない。		
	方向性	引き続き発達段階に応じた道徳教育により、豊かな心を育む。		
8. 地域や保護者に信頼され、児童・生徒にとって魅力ある学校づくり(教育委員会教育グループ)			評価点	4点
(1) 各学校コミュニティ・スクール部会による学校評価と、評価結果による改善を図ります。	実施状況	地域協働型学校づくり協議会で、各校の部会に分かれて、年に2回(前期・後期)の学校評価の報告とCS委員による関係者評価を実施し、学校にフィードバックした。		
	課題	評価のサイクルが確立されており、大きな課題はない。		
	方向性	引き続き、年2回の関係者評価を実施する。		

(2)	コミュニティ・スクールを活用し、保護者や地域住民が学校経営に参画する体制を強化します。	実施状況	3月に開催する地域協働型学校づくり協議会で、各校の部会ごとに次年度の学校経営方針の説明、審議を行っている。
		課題	保護者や地域住民が学校経営に参画する体制が確立されており、大きな課題はない。
		方向性	引き続き、コミュニティスクールの中で学校経営方針の審議を行う。
(3)	地域参観日の実施や学校だよりの全戸配布などによる教育活動の状況・情報を広く公開し、開かれた学校づくりを進めます。	実施状況	コロナ禍で地域参観日は開催できなかったが、広報に学校だよりの折込を行い、教育活動の状況について広く村民に周知した。
		課題	住民や保護者が学校経営状況を把握できるよう情報発信の充実。
		方向性	取り組みを継続し、開かれた学校づくりに努める。
(4)	相互間訪問や情報交流を行うなど、保育園と小中学校の教職員及び子どもの交流活動を充実させ、就学の円滑な接続ができるようにします。	実施状況	・関係機関による教育支援委員会を開催し、就学時の特別支援学級の判定や必要な支援について協議、情報交換を行っているほか、学校教育振興会の地域連携部の取り組みとして、保小情報交換会を開催し、小学校への円滑な接続に向けた連携や情報共有を行っている。 ・新入学児童の理解を深める目的で、2月に実施する知能検査には小学校教員が参観している。
		課題	・互いの授業参観を行い、園児や児童の実態を把握する必要がある。
		方向性	・園児の小学校訪問や教員相互の授業参観を継続する。
(5)	各学校における校内研修の充実や、各校の研修担当者間による研究、連携活動などの交流活動を推進します。	実施状況	各校における校内研修のほか、教育研究所による更別村との2村教職員研修会の開催、標準学力調査学習会の開催、ICT活用事例集の発行、教育振興会による連携・交流事業を開催している。
		課題	大きな課題はない
		方向性	引き続き取り組みを行う。
9. 地域で子どもたちを育てる環境づくりの推進(教育委員会教育グループ)			評価点 4点
(1)	地域、家庭、学校が一体となった子どもを育てる環境づくりのため、コミュニティ・スクールを核にした取組を推進します。	実施状況	学校の要請に応じて、スキー教室や読み聞かせなど、学校支援ボランティアによる教育活動への支援を行っているほか、職場体験の受入先の事業所との調整を行っている。 令和4年度から小学6年生の朝作文に地域の方がコメントする取組をはじめた。
		課題	取組は進めているがコミュニティスクールの保護者や地域への認知度は高くない。
		方向性	効果的な情報発信に取り組む。

(2) 地域の企業や事業所の協力を得て、職場体験や望ましい勤労観を培う体験学習の機会の充実に努めます。	実施状況	地域協働型学校づくり協議会を通じ、地域の特色を生かした体験学習や職業体験への支援を行っている。	4点
	課題	地域の事業所等の協力があり、大きな課題はない。	
	方向性	引き続き、地域の事業所等の協力を得ながら取組を進める。	
(3) 地域社会全体で子どもを守る安全指導を充実させます。	実施状況	学校支援ボランティアによる見守りや地域協働型学校づくり協議会と地域安全推進協議会による通学路点検などを実施している。	4点
	課題	大きな課題はない。	
	方向性	引き続き、地域が連携して取組を進める。	
(4) 山村留学制度を活用した学びの充実と地域の活性化を図ります。 【公約3-5】	実施状況	3世帯5人の受け入れを行い、5人とも令和5年度も継続することになった。また、令和5年度新規募集を行い、4世帯6人の受入を決定した。(令和5年度は計7世帯11人)	4点
	課題	住宅の確保 上札内地域で使用できる空き住宅が少なく、現状、公営住宅、教職員住宅、個人物件(留学世帯へ貸出)、法人物件(教委が借受て貸出)など様々な手段で物件を確保している。	
	方向性	施設課の地域振興住宅建設とも連携しながら住宅の確保を図っていく。	
10. 学社融合による教育活動の推進(教育委員会教育グループ)			評価点 4点
(1) 地域の方の得意分野を生かしたボランティアの発掘・育成や学校支援ボランティアの活動を支援します。	実施状況	地域協働型学校づくり協議会を通じ、地域の特色を生かした体験学習や職業体験への支援、学校支援ボランティアによる教育活動への支援を行っている。	4点
	課題	地域に協力いただき、順調に取組を進めており大きな課題はない。	
	方向性	引き続き、地域の協力を得ながら取組を進める。 新たに学生ボランティアについても募集を行う。	
(2) 地域の人材の活用による少年団活動や部活動の充実、高齢者との交流による教育活動を進めます。	実施状況	・一部の少年団では、地域の方の協力により指導者を確保している。 ・指導者確保の観点から、少年団本部による指導者資格取得の助成制度を新設し、少年団運営に必要な資格取得の際の負担を軽減。 ・小学校ではポロシリ大学や老人クラブとの交流活動を実施(R2以降はコロナで中止)。	4点
	課題	・指導者の発掘・育成が必要。 ・部活動の地域移行に関する協議等が必要。	
	方向性	・部活動の地域移行推進協議会を設置し、各少年団や学校、保護者等と部活動のあり方についての協議を進める。	

(3)	PTA活動を一層推進し、学校と保護者が一体となった教育活動・環境づくりに努めます。	実施状況	PTA連合会の活動については、新型コロナウィルス感染対策のため、対面での活動が難しく、書面会議やリモート会議により事業を進めた。	3点
		課題	コロナの影響でこの数年間は十分な活動ができているとは言えない。	
		方向性	コロナ前のPTA活動を取り戻し、情報交換や交流、研修を行う。	

(4)	社会教育事業への積極的な参加を促し、自然体験や社会体験などの活動を推進します。	実施状況	・学校や少年団等の協力も得ながら、児童生徒には各事業の周知を行い参加を促している。 また、過去の参加者に対し、ボランティアリーダーとしての参加も促している。	4点
		課題	・特になし。	
		方向性	・引き続き、学校や少年団等と連携しながら事業の周知を図る。	

11. 学校施設・設備などの整備(教育委員会教育グループ)	評価点	4点
-------------------------------	-----	----

(1)	子どもたちの学びの充実を図るために、学校施設の整備を計画的に進めます。	実施状況	小中3校のエアコン設置工事を開始(完了は令和5年度)	5点
		課題	令和6年度の中1が2クラスになるため、普通教室を増やす必要がある。	
		方向性	令和5年度中に、中学校教室増設改修工事を完了する。 その他、計画的な修繕や整備を行う。	

(2)	学校配置については、地域社会の動向や児童・生徒数の推移を踏まえつつ、社会及び教育環境に急激な変化が生じた場合は、見直しを行います。	実施状況	上札内小学校については、山村留学生5人が加わり15人となった。	4点
		課題	令和5年度は、山村留学生11人と中札内からの区域外通学2人を含めて20人となり、過半数が山村留学生という状況となっている。また、今後、地元児童の減少が見込まれる。	
		方向性	今後の児童数の推移を注視し、社会及び教育環境に急激な変化が生じた場合は、必要な対応を行う。	

(3)	教職員の働き方改革を推進するため、校務支援システムの活用を図ります。	実施状況	上札内地区に光回線のサービスが提供開始されたため切替を行い、上小に校務支援システムを導入した。(中小、中中は導入済み)	4点
		課題	導入したばかりのため利用促進が必要である。	
		方向性	操作研修を開催し、利用促進を図る。	

12. 高校・高等教育支援(教育委員会教育グループ)			評価点	5点	
(1) 高校・高等教育を受けられることのないよう、高校生への助成や永井明奨学金制度等により支援します。 【公約3-3】	実施状況	奨学生の相談対応や高校生育成支援金の見直しを検討した。また、国の交付金を活用し、大学生等生活支援臨時給付金(5万円)の交付を行った。		5点	
	課題	高校入学時の負担軽減を図る必要がある。			
	方向性	令和5年度から高校生育成支援金に入学祝い金(5万円)を新設する。			
(2) 中札内高等養護学校の学校事業への協力や社会的な自立を促進するため、地域住民や村内事業所などと連携し、職場体験実習の受入や、雇用に対する支援活動を行います。	実施状況	村内事業所などと連携し職場体験実習の受入を行った。		4点	
	課題	地域の協力も得られており大きな課題はない。			
	方向性	引き続き支援活動を行う。			
13. 安心で安心な学校給食の提供(教育委員会学校給食共同調理場)			評価点	3点	
(1) 地場農産物の利用と安定的な供給先を確保します。	実施状況	・JA等の地元販売店から購入して安定供給を確保し、地場産食材をできる限り献立で使用している。枝豆、インゲンは鮮度を保つための冷凍保存により通年供給されているが、他の野菜類は貯蔵状況により供給されない時期があるため、他地域産を使用する場合がある。		4点	
	課題	・だいこんは加工用専門にシフトされ、生食用(調理用)の出荷を停止するなど、地場産でありながら給食に使用できないものが出てきている。			
	方向性	・地場産品取扱事業者と連携をとり、引き続きできる限り地場産品を使用する。			
(2) 地場産食材への理解と愛着を深めるための生産者・販売事業者等との交流を実施し、給食だけで児童生徒及び保護者へ食に関する情報を計画的に提供します。	実施状況	・給食だよりに当月使用する地場産食材を掲載し、食習慣や栄養について児童生徒と保護者に理解しやすい内容を心掛けているが、生産者等との交流は行えていない。		2点	
	課題	・児童生徒に地産地消についての理解を深めてもらう。			
	方向性	・生産者等の協力を得ながら、食育授業を充実させる。			
14. 学校での食育の推進(教育委員会学校給食共同調理場)			評価点	4点	
(1) 栄養教諭と連携した給食指導・食育授業を実施します。	実施状況	・栄養教諭が中小の各学級で児童に給食指導を行い、今後は上小でも行う。また、6月に中学校1年生の家庭科、12月に中小6年生の家庭科で食育に関する授業を行なった。		4点	
	課題	・給食指導は、学級担任との指導方法についての共通理解が必要。			
	方向性	・食に関する教育活動は重要であり、継続していく。			

(2)	児童生徒が地場産食材や地元加工品への理解と愛着を深めるため、「ふるさと味覚給食」の提供や「ふるさと食材の日」を実施します。	実施状況	・ふるさと味覚給食は令和4年度から年1回を2回に増やし、9月と11月に実施した。ふるさと食材の日は日程を固定せずに、特産品であるJAの枝豆や加工品を活用した給食の提供日数を増やしている。	5点
		課題	・昨年から食材の高騰が続いている。	
		方向性	・ふるさと味覚給食は、公費負担で継続して行う。	

(3)	児童生徒の要望を取り入れた献立を提供します。	実施状況	・過去の献立の中から思い出の献立について、中学3年生を対象にアンケートを実施し、人気上位の献立を2月及び3月の献立に組み入れて提供した。	4点
		課題	・特になし	
		方向性	・嗜好を反映しながらバランスを意識した献立構成にする。	

15. 給食調理施設の適正管理(教育委員会学校給食共同調理場)	評価点	4点
---------------------------------	-----	----

(1)	安全な食材の確保、衛生管理の向上及び計画的な設備機械の更新等を行い、安全・安心な給食提供に努めます。	実施状況	・地場産を含め、国内産の食材を基本に調達している。衛生管理については、施設・設備の洗浄は欠かさず行い、良好な状態を維持している。また、調理員の健康管理、調理室内での手指・足元の消毒を常に実施し、夏休み時に手洗いチェック一を活用した手洗いの重要性の再確認、冬休み時にはATP検査による設備等の汚染箇所を確認するなど衛生管理に関する研修を行っている。	4点
		課題	・衛生管理に対する意識の向上と、異物混入防止対策の徹底。	
		方向性	・適正な衛生管理のために計画的な設備・機器の更新を行い、安心・安全な給食提供を行う。	

(2)	突発的な事故等に対応するための非常食を確保します。	実施状況	・3食分の非常食を確保している。	4点
		課題	・非常食の試食機会の提供	
		方向性	・保存期限近くの非常食を児童生徒に配付して、家庭において試食してもらう取組を継続する。	

評価目安(達成割合): 超過達成5点(10割超)、達成4点(10割)、概ね達成3点(9割)、やや未達成2点(8~7割)、未達成1点(6割以下)、実施なし0点
---

## ②村長評価(村長ヒアリングによる評価)

・意見等なし。
---------

### ③村民評価(総合行政推進委員会による評価)

- ・少年団の指導者が少なく、ボランティアで成り立っている状態である。団員が少ないと家庭の負担も大きい。補助金があると助かる。
- ・文化連盟の地域移行は、指導者が一人しかいなく、仕事もあるため協力は難しい状況である。
- ・子どもたちの運動に対して地域移行は一つの方法である。学校でやっていた際に費用がかからなかったものが、外部へ委託したら費用負担が発生すると格差が生まれるのではないか。
- ・昨年度の大学生等生活支援臨時給付金については、大学へ進学していないために5万円がもらえず、不公平に感じる子がいたのではないか。18歳で一律にもらえるようにして良かった。
- ・帯広市は、児童生徒が少ない学校は統廃合され無くなっている。村は、無理をしているのではないか。
- ・山村留学は、綱渡りの状態である。上札内小学校が必要かどうか再度議論する必要がある。学校を一本化することは、早くやつた方が良い。小規模校に通った小学生が、中学校でいきなり大所帯になると戸惑ってしまう子がいるのも事実である。
- ・住むところが上札内なら中札内小学校へ通っても山村留学になるのではないか。

## 令和4年度実施事業に関する政策評価書

基本目標	3	編	文化と学びが紡ぐまちづくり	評価点	4点
方向性	2	章	心豊かに暮らせるまち	評価点	4点
政策	1	節	社会教育・生涯学習の推進	評価点	4点

担当課
教育委員会教育グループ

### (1) 主要な施策・事業の評価

前期基本計画の主要な施策・事業			実施状況・成果／課題／方向性			評価		
1. 生涯学習と社会教育活動の推進(教育委員会教育グループ)						評価点 4点		
(1)	多様な学習ニーズに応え住民の自主的な学習を支援していくために、「生涯学習自主企画講座」「社会教育活動振興助成事業」の積極的な利用を促進します。  【公約3-4】		実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>広報等による周知の他、社会教育委員に呼びかけ、講座を企画してもらうことで口コミ等による周知を図った。</li> <li>令和5年度に向けて自主企画講座を文化振興奨励事業から社会教育振興事業へ移行し、講師謝礼だけでなく、会場使用料も助成対象にして拡大した。他の補助メニューについても、補助率を拡大した。</li> </ul> <p>(村民が企画する講座) R3 2件 R4 7件</p>			4点	
			課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助を利用した講座の紹介も含め、SNS等で周知することが必要。</li> </ul>				
			方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、社会教育委員にも利用していただきながら、口コミ等も含めて周知を図っていく。</li> </ul>				
(2)	生涯学習を始めるきっかけとなる公募講座を開催します。  【公約3-4】		実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師として、村内の人材も活用しながら講座を4回実施した。</li> </ul> <p>(生涯学習講座) R3 2件 R4 4件</p>			4点	
			課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民の学習ニーズの把握。</li> </ul>				
			方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種社会教育事業において、参加者等が興味を持っていることがあれば関連講座を開催できないか検討していく。</li> </ul>				
(3)	シニア世代の学習意欲や社会参加を促していくために「ポロシリ大学」を開講し、長寿社会での学びの充実を図ります。また、学生自らが主体となって学習を進めていくよう支援します。  【公約3-4】		実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>定例事業、クラブ活動、他町村交流は従前通りに実施できるようになったが、研修事業や異世代交流はコロナで中止とした。</li> </ul> <p>(定例授業) 8回 (クラブ活動) 7クラブ (他町村交流) 8月、11月に更別村末広学級と実施</p>			4点	
			課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生が主体的に学習を進めていく運営体制の構築と支援が必要。</li> </ul>				
			方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>当日の進行等も学生を中心に運営できる体制を整える。また、ダンススポーツクラブを立ち上げ、定期的にクラブ活動を実施していく。</li> </ul>				
(4)	子どもたちが豊かな心や思いやりを育んでいくよう、ジュニアアウトドアスクールや川越市との交流などの体験事業を実施します。		実施状況	<p>(ジュニアアウトドアスクール) R3 35人 R4 25人 (南砺市相互交流) R3 中止 R4 受入 7人 (川越市中学1年受入) R3 中止 R4 中止 (川越市中学3年受入) R3 中止 R4 中止 (中札内中学1年川越市派遣) R3 中止 R4 中止</p>			4点	
			課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジュニアアウトドアスクールにおける高校生ボランティアの確保。</li> <li>継続的な交流ができる体制の確保。</li> </ul>				
			方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育委員会の各種事業をサポートする学生ボランティアを募集し、継続的に関わつてもらいながら人材を育成する。</li> </ul>				

(5)	「中札内村共育の日」の理念に基づき、地域・家庭・学校が一体となり、地域全体で子どもたちを育てていくため、地域協働型学校づくり協議会が中心になり、意識啓発の取組を推進します。  【公約3-6】	実施状況	・共育の理念を深める取組として、教育講演会を実施し、意識啓発を図った。 ・中小・中中部会合同による通学路点検、中小部会による南門の遊歩道の整備、上小部会による果樹園整備などを行っている。	4点
		課題	・地域協働型学校づくり協議会の活動や共育の日の理念が、充分に住民や保護者に浸透しているとは言えない。	
		方向性	・地域等と各学校の課題を共有し、共育の理念に基づいた取組を進めていく。 ・地域協働型学校づくり協議会活動の情報発信を行っていく。	

  

(6)	中札内村子どもの読書活動推進計画に基づき、図書館における児童書の充実や親子が利用しやすい環境づくりを進めるとともに、学校、保育園等の読書活動を支援します。また、時代の変化やニーズに対応するため、情報発信拠点としての蔵書の充実や道内の図書館と連携した広域利用を推進します。	実施状況	・親子で本に親しんでもらうことを目的に、第2・4土曜日に「おはなし会」を実施している。また、ブックスタート(7、8ヶ月)やブックフレンド(3歳)において、幼少期から本に触れられる機会を提供している。学校への図書活動支援として、小学校では移動図書や巡回図書、中学校図書ではブックコートかけ等を実施している。	4点
課題	・読書活動支援ボランティアの新たな人材確保			
方向性	・学校、保育園等の連携を強化し、幼少期からの読書活動を支援していく。			

## 2. 社会教育施設の適正管理(教育委員会教育グループ)

評価点 4点

(1)	文化創造センター・上札内交流館などの必要な機器の更新や施設の修繕等を計画的に行います。	実施状況	(文化創造センター) ホールステージ床の張替修繕など (上札内交流館) 光回線改修	4点
		課題	・修繕箇所の把握や、計画的な備品・設備の更新が必要。	
		方向性	・長寿命化計画やまちづくり計画(実施計画)に基づき、修繕を実施する。	

  

(2)	交流の杜は、適正な維持管理に努め、スポーツ合宿や文化活動などの交流人口の増加を目指します。	実施状況	・スポーツ合宿や各種大会、研修等で幅広く利用されている。	4点
		課題	・施設や設備が老朽化しており、大がかりな修繕や工事が必要となる。また、2、3階の活用状況の現状も踏まえ、今後の施設利用の方向性を判断するための情報収集が必要。	
		方向性	・後期まちづくり計画(実施計画)の始期までに、施設の利用の方向性等を検討。	

### 評価目安(達成割合):

超過達成5点(10割超)、達成4点(10割)、概ね達成3点(9割)、やや未達成2点(8~7割)、未達成1点(6割以下)、実施なし0点

### ②村長評価(村長ヒアリングによる評価)

- ・交流の杜の維持管理については、コンサル等へ依頼し施設利用の方向性を出すこと。

### ③村民評価(総合行政推進委員会による評価)

- ・南砺市交流は、良い経験だと思った。すぐに定員になってしまい行けない子が多く残念だった。定員を増やせたら良いし、事業を続けてもらいたい。

# 令和4年度実施事業に関する政策評価書

基本目標	3	編	文化と学びが紡ぐまちづくり	評価点	4点	担当課 教育委員会教育グループ 総務課企画財政グループ
方向性	2	章	心豊かに暮らせるまち	評価点	4点	
政策	2	節	国際・地域間交流の推進	評価点	3点	

## ①主要な施策・事業の評価

前期基本計画の主要な施策・事業			実施状況・成果／課題／方向性			評価		
1. 友好都市川越市との交流(教育委員会教育グループ・総務課企画財政グループ)						評価点 3点		
(1) 互いの文化や歴史を学ぶ貴重な体験機会として、中学生の相互交流事業を実施します。			実施状況	<p>【川越市中学生の受け入れ】            -例年7月下旬～3泊4日の日程で川越市中学生の受け入れを実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。            【川越市への訪問交流事業】            例年1月に中学1年生10名程度及び引率者2名を派遣しているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。</p>			2点	
			課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍明けの再開に向けて、ホームステイの代替や行程全体の見直しが必要。</li> </ul>				
			方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>相互交流を継続し、川越市と中札内村の違いを体験を通して学んでもらう。</li> <li>ホームステイの代替として、札内川園地キャンプ場や上札内交流館の利用した方法で内容を調整する。</li> </ul>				
(2) 川越市と連携した児童生徒の交換絵画作品展を開催します。			実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>両市村の児童生徒の絵画作品の交換作品展を中札内村(11月)及び川越市(1月)で実施した。</li> </ul>			4点	
			課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし。</li> </ul>				
			方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在行っている内容で継続し、中札内村の風景等を伝えられる事業とする。</li> </ul>				
(3) 産業フェスタへの出店参加を継続するとともに、産業・文化分野における住民主体の相互交流を促進します。			実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>市制施行100周年記念事業として、訪問団を結成し川越市を訪問。(一般村民7名、関係団体2名、他村職員)</li> <li>11月に川越産業フェスタに参加し、村特産品の販売を行った。(村職員、農協職員、民間企業(十勝野フロマージュ)で対応)</li> </ul>			4点	
			課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民レベルでの交流の機会が少ない。</li> </ul>				
			方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業フェスタへの出店を継続するとともに、固定化している参加事業者の拡大について検討する。</li> </ul>				
2. 南砺市(福野地域)との交流(教育委員会教育グループ)						評価点 4点		
(1) 生き生き自然体験隊交流事業は、両市村児童の交流と体験を主体とした事業として実施します。			実施状況	<p>令和4年度は南砺市からの訪問団を受け入れた。            福野地域からは、児童参加者の減少や高齢化による受入体制が維持できない(行政からの人的支援はない)ため、相互交流の継続は困難であり、令和5年度の南砺市での受入をもって交流事業を終了したい旨の申し出を受けた。</p>			4点	
			課題	<p>本事業の終了により両地域の交流が無くなってしまうため、まち単位で今後の関係をどうするか協議が必要。</p>				
			方向性	<p>最後となる令和5年度南砺市派遣に向けて準備を進める。</p>				

3. 国際交流の推進(教育委員会教育グループ)			評価点	2点
(1) 海外への中学生派遣と受入れと、オンラインを含めた交流事業を実施します。	実施成状況	令和元年12月 ハワイからの受入 令和2年3月 村からの派遣(コロナの影響で7月に延期したが中止) 令和3年3月 オンライン交流 令和3年度、4年度については、コロナの影響で相互交流は中止	2点	
	課題	・ハワイとの相互交流が定着する前にコロナによる中止となっており、改めて事業を構築する必要がある。		
	方向性	・事業を再開し、持続可能な取組になるよう実施方法を調整する。		

評価目安(達成割合):

超過達成5点(10割超)、達成4点(10割)、概ね達成3点(9割)、やや未達成2点(8~7割)、未達成1点(6割以下)、実施なし0点

②村長評価(村長ヒアリングによる評価)

- ・南砺市との交流については、総務課で今後の関係をどうしていくか協議すること。
- ・川越市との住民同士の交流の機会を数年に1度で良いので構築できるとよい。
- ・産業フェスタについては、他事業者含め参加を呼び掛けていく。

③村民評価(総合行政推進委員会による評価)

- ・意見等なし。

# 令和4年度実施事業に関する政策評価書

基本目標	3	編	文化と学びが紡ぐまちづくり	評価点	4点	担当課 教育委員会教育グループ
方向性	2	章	心豊かに暮らせるまち	評価点	4点	
政策	3	節	文化・芸術、スポーツの振興	評価点	4点	

## ①主要な施策・事業の評価

前期基本計画の主要な施策・事業	実施状況・成果／課題／方向性			評価
1. 文化、芸術活動の推進(教育委員会教育グループ)				評価点 3点
(1) 各種文化団体やサークル活動に対して支援を行うとともに、村民主体による文化祭の開催など、発表や活動の場を提供します。	実施状況	(村民文化祭) ・10月28日～11月6日 文化創造センターで作品展示(25団体3個人) ・11月3日 オンステージ・式典(11団体1個人)		4点
	課題	・メンバーが高齢化している文化団体が散見されるため、後継者育成や新会員の加入が必要。		
	方向性	・発表の場は活動の大きな意欲となることから、引き続き文化団体と連携しながら文化祭等を実施していく。また、SNS等を通して文化活動の周知も行う。		
(2) 住民組織や民間団体との連携を強め、地域全体で文化・芸術の振興を図ります。	実施状況	・住民主体のコンサート・映画会・芸術イベント等、教育委員会主催のイベントとは趣向の違う分野のイベントがバランスよく実施された。また、文化月間に合わせて、個人作品の展示を行う等の連携も実現できた。  (文化振興奨励事業) R3 2件 R4 8件		4点
	課題	・特になし。		
	方向性	・文化振興奨励事業は住民の自主性を育む重要な制度であるため、さらなる周知を行って活用を促す。また、助成団体等と連携し、活用イベントをSNS等で発信していく。		
(3) 芸術大学と連携した「子どもアートプロジェクト」、音楽を中心とした「なかさつ音まちプロジェクト」を推進します。  【公約1-3】	実施状況	新型コロナの影響で、昭和音楽大学、武蔵野美術大学どちらも実施することはできなかったが、村の担当も変わっているので、各大学を訪問し次年度に向けた打合せを行った。		2点
	課題	前回実施から3年経過しているため、改めて事業を構築する必要がある。		
	方向性	令和5年度は、それぞれ1週間程度滞在して活動を行い、次年度に向けて検証を行う。		
2. 文化施設の活用(教育委員会教育グループ)				評価点 4点
(1) 文化・芸術の活動拠点である文化創造センターは、住民主体の企画による活用やハーモニーホールの安定的な機能提供と効率的な運営に努めます。	実施状況	ファツィオリピアノ導入後、ホールの利用が伸びている。 コロナ禍で2年ほど住民企画が行われていなかったが、その分も含めて申請が多くかった。		4点
	課題	ホールの利用増に伴い、現在の委託先の体制(実質1人)では対応に限界が来ている。また、委託先の後継者対策も考慮した技術者の確保が必要である。		
	方向性	委託内容を見直し、新たなホール技術者の確保を行う。		

		<p><b>実施状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホールステージ床の張替修繕など</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修繕箇所の把握や、計画的な備品・設備の更新が必要。</li> </ul> <p><b>方向性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命化計画やまちづくり計画(実施計画)に基づき、修繕を実施する。</li> </ul>	4点
(2)	文化創造センター利用者の利便性向上のため、計画的な維持管理に努めます。		
3. 文化財などの保護・保存(教育委員会教育グループ)			評価点 3点
(1)	広域的な人材の活用に努め、地域の歴史と文化を伝える文化財などの保存・保護を行います。	<p><b>実施状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石見神楽と旧杉村農場サイロを村文化財に指定し、保護・保存活動に努めている。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石見神楽では踊り手が高齢化し、後継者が不足している。</li> </ul> <p><b>方向性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、石見神楽の定期的な活動を上小体育館で実施していく予定であり、SNS等も含めて練習会等の周知を行い、参加者の拡充を支援する。また、演舞で使う備品の更新も計画的に支援できるよう協議を進める。</li> </ul>	3点
(2)	村の景観財産として、国指定の名勝ピリカノカ・十勝幌尻岳のPRに努めます。	<p><b>実施状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・村のホームページや観光パンフレットに十勝ポロシリ岳の名勝地指定の関係の説明及び写真を掲載している。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広く知ってもらうための情報発信が必要。</li> </ul> <p><b>方向性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して村のホームページ等でPRする。</li> </ul>	3点
4. 生涯スポーツ活動の推進(教育委員会教育グループ)			評価点 4点
(1)	村民が生涯にわたりスポーツに親しむことができるよう、ニーズに応じたスポーツの機会の提供や情報発信に努めます。	<p><b>実施状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピータンスポーツクラブでは会員以外も参加できるイベントを企画し、会員増に向けた取組を行っている。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・村民のスポーツに対するニーズが個人型のものや健康志向のものに変化しており、ニーズに合わせた運動機会の提供が必要。</li> </ul> <p><b>方向性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ニーズに応じたスポーツ事業を展開していく。</li> </ul>	4点
(2)	保健事業と連携し、村民の健康な身体づくりにつながるスポーツ講演会や各種教室を開催するほか、四季を通じてスポーツに取り組める環境づくりを進めます。  【公約1-2】	<p><b>実施状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちくだいKIPと連携したヘルスケアと運動習慣化のプログラムを実施し、体力測定やアンケートを行った結果、運動に対してポジティブに感じたと回答する参加者が多かった。</li> <li>・体育館筋トレ室のトレーニング機器は老朽化が進んでいたため更新、体調管理に使えるエクササイズグッズを配置した。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室参加者は元々運動に関心が高い層が多く、無関心層の参加者が少ない。特にヘルスケアのプログラムに関しては、一般的な募集方法ではなく、無関心層に直接アピールできる機会を創出することが必要。</li> </ul> <p><b>方向性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動無関心層にアプローチするために、保健グループや医療機関とも連携した取組を展開する。</li> </ul>	4点

(3)	青少年の健全な心身育成のため、スポーツ指導者を養成する講習会や研修会の情報提供や参加支援を積極的に行います。	<p><b>実施状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ少年団本部と連携を図りながら、少年団に所属する子供たちの保護者に講習会や研修会等の情報を提供している。</li> <li>・R2から指導者登録制度が改正し、各少年団の負担が増えたことから、指導者資格取得の際の助成制度を新設。</li> </ul>	4点
(4)	各スポーツ団体やスポーツ少年団の持続的な活動を支援するとともに、相互の協力による村民スポーツ大会の開催、団体間における情報交換の機会をつくります。	<p><b>実施状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ少年団本部と連携を図りながら、単位団活動の支援を行っている。また、村民スポーツ大会の開催については、単独で大会運営等ができない団体の支援を行うなど、実行委員会全体での運営に努めている。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・村民スポーツ大会を運営する多くの主管団体において、会員及び競技人口の減少や会員高齢化のため、大会運営が厳しい状況にある。</li> </ul> <p><b>方向性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体間で大会運営を協力し合う体制などを模索する。</li> </ul>	4点
(5)	スポーツ振興奨励事業補助金を活用して、各団体の自主的な活動を支援します。	<p><b>実施状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種スポーツ団体及びスポーツ少年団など、自主的に活動する団体等への支援を行っている。</li> <li>管内状況を調査した後、令和5年度に向けて小中学生の補助率拡大や助成対象経費の見直しを行った。 (改正内容) ※小中学生 ・補助率 5割→10割 ・参加費、車賃を助成対象に変更 ・助成回数 2回→無制限 ・引率する指導者やマネージャーを助成対象に変更 ・対象となる大会の拡充</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul> <p><b>方向性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少年団等への情報提供を継続し、制度を周知する。</li> </ul>	4点
(6)	ピータンスポーツクラブは、会員拡大に向けた事業を行います。	<p><b>実施状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブの独自運営は困難なため、教育委員会が全面的に支援することとしている。会員拡大に向けては、常設の運動教室に加え、異なるジャンルを試行的に実施している。また、会員以外でも参加できるイベントを通じ、会員拡大を図っている。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし。</li> </ul> <p><b>方向性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントや試行的に開催する講座等を通じて会員拡大を図る。</li> <li>・定例講座の受付は職員が行っていたが、負担軽減のため回数券制に見直す。</li> </ul>	4点

5. 体育施設の充実と適正管理(教育委員会教育グループ)			評価点
			4点
(1) 村民のスポーツやレクリエーション活動の充実のため、各体育施設は利用状況やニーズを把握し、施設環境の維持・向上を図ります。	実施状況	・体育施設の利用頻度が高いスポーツ団体からは、隨時修繕箇所等の要望を受けしており、必要に応じて修繕や備品の更新を行っている。	4点
	課題	・今後、老朽化によって突発的な修繕も想定される。	
	方向性	・経過年数や使用頻度を考慮し、優先順位を考えながら計画的に修繕や備品更新を行う。	
(2) 屋外・屋内運動施設の計画的な修繕・改修及び適正な維持管理に努めます。	実施状況	・各体育施設の維持補修等については、隨時実施しており、適正な維持管理に努めている。	4点
	課題	・今後、老朽化によって大規模な修繕や工事も想定されるため、施設管理者と協議の上で計画的な修繕等を行っていく。	
	方向性	・経過年数や使用頻度を考慮し、優先順位を考えながら計画的に修繕等を行う。	

評価目安(達成割合):

超過達成5点(10割超)、達成4点(10割)、概ね達成3点(9割)、やや未達成2点(8~7割)、未達成1点(6割以下)、実施なし0点

②村長評価(村長ヒアリングによる評価)

- ・体育施設(パークゴルフ場)の維持管理に関する設備更新については、どこの部署で担当しても構わない。内部調整し、村としてしっかりと管理していくこと。
- ・生涯スポーツ活動(ちくだいKIPなど)に参加している人ではなく、無関心層、自宅から出でてくることがストレスを感じる人、運動に限らず人と関わりたくない人にどう動機付けしていくかが課題である。

③村民評価(総合行政推進委員会による評価)

- ・体育館の冬場は、寒くて運動できる状態ではない。室温が上がっていないと運動できない。夏場は、エアコンが無いため暑すぎて体育館で少年団活動をするのは、厳しい状況だった。2階は、窓を開けても風が通らない。体育館は、1階もエアコンが付いていない。夏場に卓球に関わっていたが、参加者は異常な汗をかいていた。
  - ・プールは、水から上がった時、寒いという声を聞く。

# 資料

令和 4 年度

施設の利用状況

## 令和4年度 総合運動公園利用状況

○札内川総合運動公園(野球場)				
月	年度	利用者数	日 数	1日平均
4	R3	100	1	100
	R4	0	0	0
5	R3	250	5	50
	R4	280	6	47
6	R3	30	1	30
	R4	220	13	17
7	R3	246	5	49
	R4	140	13	11
8	R3	824	2	412
	R4	210	16	13
9	R3	0	0	0
	R4	300	5	60
10	R3	120	1	120
	R4	80	2	40
合計		R3 1,570	15	105
		R4 1,230	55	22

○札内川総合運動公園(ソフトボール場)				
月	年度	利用者数	日 数	1日平均
4	R3	0	0	0
	R4	0	0	0
5	R3	0	0	0
	R4	220	4	55
6	R3	0	0	0
	R4	29	3	10
7	R3	0	0	0
	R4	95	7	14
8	R3	62	1	62
	R4	35	2	18
9	R3	5	1	5
	R4	20	1	20
10	R3	120	1	120
	R4	20	2	10
合計		R3 187	3	62
		R4 419	19	22

○札内川総合運動公園(陸上競技場)				
月	年度	利用者数	日 数	1日平均
4	R3	0	0	0
	R4	0	0	0
5	R3	155	17	9
	R4	590	18	33
6	R3	336	16	21
	R4	692	17	41
7	R3	467	14	33
	R4	554	17	33
8	R3	411	14	29
	R4	554	17	33
9	R3	0	0	0
	R4	558	17	33
10	R3	225	3	75
	R4	408	16	26
合計		R3 1,594	64	25
		R4 3,356	102	33

○札内川総合運動公園(サッカー場)				
月	年度	利用者数	日 数	1日平均
4	R3	15	2	8
	R4	0	0	0
5	R3	75	10	8
	R4	248	5	50
6	R3	165	14	12
	R4	404	18	22
7	R3	360	16	23
	R4	288	16	18
8	R3	1,100	13	85
	R4	1,903	21	91
9	R3	0	0	0
	R4	383	16	24
10	R3	160	4	40
	R4	120	4	30
合計		R3 1,875	59	32
		R4 3,346	80	42

少年団や村内外のスポーツ団体の利用が増えたことによる増。

## 令和4年度 村民体育館年間利用集計表

		筋力トレ	卓球	柔道	軽運動	ミーティング	アリーナ	和室(大)	和室(小)	計	合 計
月	昼間	97	125	8	115	104	274	0	0	723	1,242
	夜間	44	40	1	41	57	283	34	19	519	
月	昼間	57	85	4	124	74	223	0	0	567	1,010
	夜間	38	54	51	47	40	198	0	15	443	
月	昼間	37	65	23	125	98	112	0	0	460	1,049
	夜間	44	42	75	75	68	277	0	8	589	
月	昼間	67	108	21	104	75	201	0	0	576	1,192
	夜間	75	58	61	58	50	299	0	15	616	
月	昼間	86	102	33	61	93	239	0	0	614	1,034
	夜間	93	47	26	42	22	178	0	12	420	
月	昼間	90	81	30	111	75	164	0	0	551	1,092
	夜間	77	45	47	65	46	247	5	9	541	
月	昼間	83	68	24	94	90	205	0	0	564	1,095
	夜間	97	30	15	66	27	252	28	16	531	
月	昼間	89	83	20	73	112	281	34	0	692	1,239
	夜間	72	41	1	48	30	321	15	19	547	
月	昼間	126	112	25	66	74	203	0	4	610	1,063
	夜間	62	47	7	44	35	228	30	0	453	
月	昼間	126	123	27	76	83	306	80	10	831	1,279
	夜間	60	31	6	38	39	243	31	0	448	
月	昼間	79	120	0	64	91	174	8	18	554	1,050
	夜間	68	35	0	63	46	269	15	0	496	
月	昼間	171	214	8	93	94	462	99	15	1,156	1,787
	夜間	100	41	5	54	62	319	35	15	631	
合計	昼間	1,108	1,286	223	1,106	1,063	2,844	221	47	7,898	14,132
	夜間	830	511	295	641	522	3,114	193	128	6,234	

## 令和4年度 村民プール利用者数

利用者区分		月	5月	6月	7月	8月	9月	区分計
授業等	保育園			13	56	10	44	123
	小学生			323	454	289	216	1,282
	中学生			102	99	0	0	201
水泳少年団				264	185	124	129	702
水泳教室				19	38	135	0	192
村内	幼児	14	20	29	32	25		120
	小学生	246	276	218	168	48		956
	中学生	3	6	19	12	2		42
	高校生	7	0	0	0	0		7
	一般	47	115	139	111	57		469
	一般減免	4	1	3	5	0		13
村外		9	68	166	230	54		527
合計		330	1,207	1,406	1,116	575		4,634

## 令和4年度 屋内多目的運動施設利用実績

単位:日・名

	ゲートボール 協 会	きらきらキッズ	野球 少年団	サッカー 少年団	中学校 テニス部	中学校 野球部	(高校生以上)	一般利用(中学生以 下)	団体利用	延日数・人數計
4月	20日	214名	3日	55名	4日	44名	9日	137名		38日 456名
5月	2日	29名	2日	32名						8日 70名
6月	6日	60名	3日	61名						12日 130名
7月	5日	57名	1日	15名	2日	21名				10日 114名
8月	6日	50名	1日	15名	2日	22名				21日 107名
9月	3日	36名								14日 49名
10月	13日	113名	1日	13名						22日 169名
11月	22日	282名	3日	34名						55日 549名
12月	16日	176名	3日	46名	6日	78名	2日	37名		
							10日	123名		
1月	18日	206名	3日	34名	8日	93名	6日	57名		53日 417名
2月	19日	273名	3日	44名	11日	159名	8日	121名		62日 663名
3月	21日	270名	2日	15名	8日	117名	9日	239名		
計	151日	1766名	25日	364名	41日	534名	51日	785名	日 名 日 名 日 名	396日 3796名

※各少年団及び部活動の入數には、指導者の入數を含む。

## 令和4年度 中札内交流の杜 利用状況

		区分																							
		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
サッカーフィールド	人数	小学生	0人	600人	0人	150人	0人	750人																	
	中学生	690人	289人	175人	2,278人	2,590人	35人	208人																	6,265人
	高校生	0人	0人	254人	40人	1,615人	566人	40人																	2,515人
	大学・一般	270人	603人	882人	1,100人	2,782人	877人	277人																	6,791人
	計	960人	1,492人	1,311人	3,568人	6,987人	1,478人	525人																	16,321人
	内訳	村内	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	外	960人	1,492人	1,311人	3,568人	6,987人	1,478人	525人																	16,321人
	回数	4回	8回	10回	15回	12回	10回	5回																	64回
	利用料金	22,800円	21,600円	48,800円	84,550円	152,000円	68,100円	13,700円																	411,550円
	内訳	小学生	264人	258人	68人	306人	15人	46人	89人	387人	199人	152人	2,228人												
体育館	人数	中学生	38人	0人	0人	0人	0人	540人	0人	36人	69人	107人	55人	941人											
	中学生	74人	148人	673人	110人	35人	55人	78人	231人	226人	118人	2,008人													
	高校生	215人	387人	396人	415人	54人	241人	883人	635人	339人	298人	512人	4,699人												
	計	591人	793人	1,137人	831人	644人	342人	1,086人	1,322人	871人	623人	916人	9,876人												
	内訳	村内	226人	350人	226人	201人	62人	204人	606人	533人	606人	374人	528人	4,406人											
	外	365人	443人	911人	630人	582人	138人	480人	789人	265人	249人	249人	388人	5,470人											
	回数	33回	36回	39回	21回	11回	29回	37回	58回	52回	50回	462回													
	利用料金	18,600円	11,600円	9,300円	10,000円	7,400円	10,000円	66,350円	41,050円	30,050円	35,800円	33,500円	309,250円												
	内訳	小学生	68人	68人	102人	67人	0人	94人	33人	81人	67人	82人	66人	856人											
	中学生	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	高校生	31人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	31人
	大学・一般	14人	11人	18人	15人	0人	20人	248人	68人	11人	25人	14人	474人												
多目的室	計	113人	79人	120人	82人	0人	114人	281人	149人	78人	107人	80人	158人	1,361人											
	内訳	村内	0人	0人	14人	0人	0人	0人	10人	0人	24人														
	外	113人	79人	120人	68人	0人	114人	281人	139人	78人	107人	80人	158人	1,337人											
	回数	4回	3回	4回	3回	0回	5回	6回	5回	3回	4回	45回													
	利用料金	3,000円	1,800円	2,400円	1,600円	0円	3,000円	6,400円	3,900円	2,700円	3,600円	2,700円	3,600円	35,600円											

## 令和4年度 中札内交流の杜 利用状況

		区分																													
		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月							
トランジンク室	区分	小学生	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人						
	人数	中学生	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人						
	人数	高校生	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人						
	大学・一般	59人	82人	94人	56人	12人	78人	47人	51人	48人	48人	51人	47人	51人	48人	66人	68人														
	計	59人	82人	94人	56人	12人	78人	47人	51人	48人	48人	51人	47人	51人	48人	71人															
	内訳	村内	39人	77人	87人	37人	10人	75人	43人	27人	30人	30人	43人	10人	75人	27人	30人	52人													
	外訳	村外	20人	5人	7人	19人	2人	3人	4人	24人	18人	18人	4人	2人	3人	4人	24人	18人													
	回数	58回	74回	83回	52回	11回	74回	47回	47回	50回	43回	43回	47回	50回	43回	67回	67回	74回													
	利用料金	11,600円	8,200円	9,400円	5,600円	1,200円	7,800円	4,700円	4,700円	10,200円	9,600円	9,600円	10,200円	9,600円	10,200円	13,000円															
	利用料金	小学生	0人	80人	0人	90人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	95人	0人													
研修室	人数	中学生	7人	12人	9人	6人	3人	3人	3人	6人	9人	9人	11人	11人	11人	11人	3人														
	人数	高校生	31人	0人	0人	0人	8人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人			
	大学・一般	33人	104人	78人	129人	26人	19人	248人	248人	104人	104人	104人	21人	19人	19人	19人	21人														
	計	71人	196人	87人	225人	37人	22人	254人	254人	208人	208人	208人	32人	32人	32人	32人	22人														
	内訳	村内	28人	58人	29人	23人	36人	22人	30人	33人	32人																				
	外訳	村外	43人	138人	58人	202人	1人	0人	224人	175人	0人																				
	回数	25回	30回	27回	25回	20回	20回	29回	29回	29回	29回	29回	29回	29回	29回	24回	24回	20回	20回	20回	20回	23回	23回	22回	22回	22回	22回				
	利用料金	14,400円	20,200円	12,200円	20,200円	22,000円	9,000円	19,000円	23,400円	21,600円	9,000円																				
	利用料金	人數	1,794人	2,642人	2,749人	4,762人	7,680人	2,034人	2,193人	1,730人	1,029人	823人	1,029人	823人	1,029人	823人	1,029人														
	内訳	村内	293人	485人	342人	275人	108人	301人	679人	603人	668人	668人	668人	668人	668人	668人	448人														
	外訳	村外	1,501人	2,157人	2,407人	4,487人	7,572人	1,733人	1,514人	1,127人	361人	361人	361人	361人	361人	361人	375人														
	回数	124回	150回	166回	118回	59回	138回	124回	142回	122回	141回	141回	141回	141回	141回	141回	144回														
	利用料金	70,400円	63,400円	82,100円	121,950円	182,600円	97,900円	110,150円	78,550円	63,950円	61,400円	58,800円	61,400円	58,800円	61,400円	58,800円	72,700円														

**令和4年度 上札内交流館利用者集計表**

(単位:件、人)

区分	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
行政関係	4	80	7	472	8	194	7	94	4	72	3	86	6	127	6	110	7	114	4	72	7	128	2	36	65	1,585
教育委員会関係	1	30	0	0	0	0	2	45	4	62	10	41	1	10	6	18	3	14	1	10	6	68	3	40	37	338
農協関係	2	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	1	30	0	0	1	10	4	60	9	122	
学校関係	0	0	0	0	8	76	5	20	2	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10	16	126	
PTA関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
青年・女性団体関係	0	0	0	0	0	0	0	0	1	400	0	0	0	0	1	5	1	14	0	0	2	8	2	25	7	452
行政区関係	1	18	1	20	1	20	1	20	1	4	1	20	1	20	1	20	1	20	1	7	1	20	3	58	14	247
文化団体関係	0	0	0	0	0	1	28	2	23	1	30	1	10	1	10	1	7	1	20	0	0	2	20	10	148	
サークル関係	6	45	5	72	5	48	8	80	11	92	5	50	3	30	3	30	1	10	3	30	3	30	6	65	59	582
老人クラブ関係	1	35	1	35	1	30	1	35	1	35	1	30	1	30	1	30	1	30	1	30	1	30	2	35	13	385
保育園関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
少年団関係	0	0	0	0	0	4	120	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	31	7	151
みのり園・のぞみ園	0	0	0	0	0	0	0	0	1	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	50	
冠婚葬祭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	5	15	5	8	4	7	3	5	5	8	16	35	24	50	12	30	7	20	4	6	11	25	5	8	101	217
放課後児童クラブ (その他児童)	25	20	23	38	25	39	25	34	26	32	24	25	25	70	22	73	24	60	22	46	23	74	26	25	290	536
合 計	45	351	42	712	52	434	57	521	58	828	61	374	62	386	54	351	47	319	37	221	55	413	59	439	629	5,349

宿泊者数等(再掲)

区分	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	件	人数	件	人数	件	人数	件	人数	件	人数	件	人数	件	人数	件	人数	件	人数	件	人数	件	人数	件	人数	件	人数
宿泊団体数(団体)	0	0	0	0	3	4	5	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	17	
宿泊数(泊)	0	0	0	0	5	8	11	6	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	5	2	0	0	0	0	43	
実人数(人)	0	0	0	0	31	49	77	3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	191	
延人数(人)	0	0	0	0	76	169	152	21	0	0	18	4	0	0	0	0	0	0	18	4	0	0	0	0	544	

開館日数	24日		23日		26日		27日		25日		27日		26日		25日		24日		22日		26日		合計			
	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人	件	人
日平均利用者数	14.6人	31.0人	16.7人	19.3人	33.1人	15.0人	14.3人	13.5人	12.8人	9.2人	18.8人	16.9人	14.3人	13.5人	12.8人	9.2人	18.8人	16.9人	14.3人	13.5人	12.8人	9.2人	18.8人	16.9人	14.3人	13.5人
延人数(人)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※1)5月の行政関係472人はクリーンなさつない等のイベントによる増  
※2)8月の青年・女性団体関係は上札内の花火大会による増

## 令和4年度 文化創造センター 利用状況

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ハーモニーホール	回数	11回	14回	26回	13回	25回	14回	20回	15回	9回	31回	206回		
	日数	11日	12日	13日	22日	13日	22日	14日	12日	16日	14日	7日	26日	182回
視聴覚室	人數	344人	539人	1,995人	1,029人	761人	1,830人	529人	1,031人	651人	268人	360人	603人	9,940人
	回数	10回	14回	16回	21回	20回	29回	23回	16回	20回	11回	13回	18回	211回
研修室	人數	158人	199人	243人	337人	226人	550人	320人	245人	337人	119人	377人	423人	3,534人
	回数	23回	20回	23回	26回	24回	28回	18回	17回	13回	11回	17回	19回	239回
和室	人數	367人	412人	421人	376人	401人	409人	299人	366人	216人	261人	294人	287人	4,109人
	回数	6回	5回	12回	13回	6回	16回	12回	13回	9回	9回	15回	16回	132回
陶芸室	人數	164人	228人	271人	283人	178人	287人	203人	267人	212人	238人	292人	260人	2,883人
	回数	6回	6回	5回	6回	5回	5回	4回	7回	4回	5回	6回	4回	63回
倉庫	人數	36人	32人	29人	29人	31人	34人	26人	45人	26人	32人	29人	31人	380人
	回数	5回	4回	3回	7回	6回	6回	4回	7回	3回	6回	6回	3回	60回
控室 1・2	人數	43人	41人	36人	67人	48人	52人	56人	83人	36人	42人	62人	36人	602人
	回数	5回	4回	12回	21回	10回	21回	10回	7回	7回	7回	7回	7回	124回
会議室	人數	26人	19人	42人	55人	27人	147人	70人	34人	18人	24人	18人	28人	508人
	回数	4回	6回	6回	9回	4回	4回	2回	6回	6回	7回	9回	5回	66回
茶室	人數	40人	37人	51人	55人	32人	27人	35人	23人	48人	53人	63人	36人	500人
	回数	3回	4回	3回	3回	2回	6回	4回	5回	3回	2回	4回	4回	43回
図書館	人數	21人	24人	20人	19人	13人	34人	26人	37人	19人	14人	28人	27人	282人
	貸出冊数	3,408冊	3,221冊	3,186冊	3,297冊	3,450冊	3,387冊	3,865冊	3,433冊	3,142冊	3,397冊	3,521冊	3,342冊	40,649冊
入館人數	人數	556人	518人	552人	596人	596人	571人	620人	590人	552人	532人	579人	634人	6,896人
	回数	667人	622人	662人	715人	685人	744人	708人	662人	638人	695人	761人	8,274人	8,274人
<b>合計</b>		<b>回数</b>	<b>73回</b>	<b>77回</b>	<b>94回</b>	<b>132回</b>	<b>90回</b>	<b>140回</b>	<b>93回</b>	<b>88回</b>	<b>85回</b>	<b>73回</b>	<b>86回</b>	<b>113回</b>
<b>人數</b>		<b>1,866人</b>	<b>2,153人</b>	<b>3,770人</b>	<b>2,965人</b>	<b>2,432人</b>	<b>4,055人</b>	<b>2,308人</b>	<b>2,839人</b>	<b>2,225人</b>	<b>1,689人</b>	<b>2,218人</b>	<b>2,492人</b>	<b>31,012人</b>

※ 図書館の入館者数は、貸出人數の1.2倍とする（四捨五入）

# 令和4年度 図書館統計

## 1. 利用統計

◆開館日数	304日 (289日)					
◆登録者数	1,897人 ( 1,980人 )	個人： 1,231 ( 個人： 1,278 )	広域： 611 広域： 648	団体： 34 団体： 33	相互貸借： 21 相互貸借： 21	)
◆貸出状況						
◇貸出冊数	40,669冊 ( 41,170冊 )	[ 図書： 37,829 [ 図書： 38,446 ]	雑誌： 2,057 雑誌： 1,868	AV： 468 AV： 671	その他： 315 その他： 185	)
◇貸出人数	6,897人 ( 6,893人 )					
2. 所蔵資料						
◆蔵書冊数	57,916冊 ( 58,025冊 )	[ 一般： 34,311 ( 一般： 34,391 )	児童： 21,061 児童： 21,095	雑誌： 1,488 雑誌： 1,546	AV,その他 1,056 AV,その他 993	)
◆受け入れ冊数	1,712冊 ( 1,871冊 )					
◇購入	1,520冊 ( 1,705冊 )	[ 図書： 1,084 [ 図書： 1,246 ]	雑誌： 50 雑誌： 55	AV： 386 AV： 404	])	
◇寄贈	192冊 ( 166冊 )	[ 図書： 184 [ 図書： 158 ]	雑誌： 0 雑誌： 0	AV： 8 AV： 8	])	
◆除籍冊数	1,876冊 ( 1,907冊 )	[ 図書： 1,381 [ 図書： 1,373 ]	雑誌： 495 雑誌： 534	AV： 0 AV： 0	])	

※( )内はR3年度の数値です。